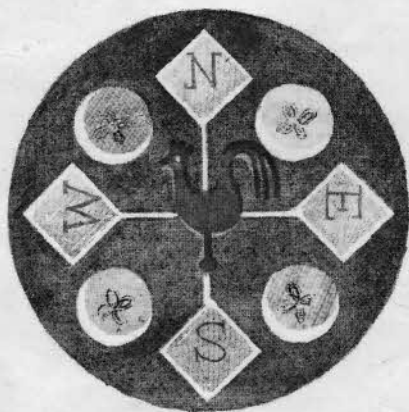


# LEON- TODO

N-ro 21-22



Dicembre

1958

# — ENHAVO —

|                                |           |    |
|--------------------------------|-----------|----|
| Revuo Orienta による北海道 Esperanto | 坂下清一      | 1  |
| ローマ字と Esperanto                | アリマヨシハル   | 5  |
| 地方会便り                          | 支那 E 会 記事 | 17 |
| 第 22 回北海道 Esperanto 大会報告       |           | 24 |
| H E L 会 員 名 簿 (33. 11 現在)      |           | 53 |
| H E L 収 支 報 告                  |           | 56 |
| 北海道 Esperanto 連 盟 規 約          |           | 57 |
| 北海道 Esperanto 連 盟 役 員 名 簿      |           | 58 |
| あ と ぶ き                        |           | 59 |

La bildo de kovrilo estas kopiita el  
fama gazeto "KURASĜI NO TEĈOO".

# Revuo Orientaによる北海道工界

坂下清一

- 1932  
Feb 69 丙 苫小牧、苫小牧工界会 15日 19時より富士館食堂にてザネ、門政氏可会、西井氏はザネ士族に併せて工界の播及史を述べ、門政氏はかねて往訪せる北米工界運動の現状を語る。終つて講義会の打合せ。
- 小樽 小樽工界会 18日 19時半より番町才 15 部番屋にてザネ、極寒にも拘らず 20余名来会
- Marto 108 丙 小樽 毎月1日、15日の二回「カノロ」を初樽講義会と併せて下沢氏宅にて会合。
- 110 F 小樽工界会ザメンホフ系 1931-12-18  
註(野村、池島、坂下、近藤、辺見、小安、松尾、佐藤、下沢、丸山、藤川、江口、高安、高橋、加増、明 等 21名)
- Aprilo 151 丙 2月16日、18時より才9回例会花園町公園クラブ樓上に於て、20名「カノロ」短講
- Marto 190 丙 全北海道工界大会 苫知郡山部町新進工界普及会北海道にて  
8月5日(金)大会発会式(午後)、協賛会、大会の夕(親睦晩餐会、余興)  
6日(土)講義会(午前)、討論大会(午後)、才二回試演会、座談会  
7日(日)講義会(午前)、函遊会(11時)  
参加費用、晩餐会費1.00 函遊会費1.00 大会参加費50 宿舍三泊 2.10 計480<sup>円</sup>
- Junio 232 丙 小樽 5月3日 公園クラブにて才13回例会 2名出席 テキストは下村氏訳の「無敵と人生」講義終了者のテキストを Rusaj Roshortey に決定 ★ 5月7日 大阪工界会の加藤祐太郎氏の参加あり 15回例会  
小樽 小樽工界会才一回の初樽短講は4月12日~24日 15部番屋に於て受講者14名、講師中 北海道工界普及会中村氏の来朝あり、講師近藤氏。
- Aug. 311 小樽 小樽工界会は月三回の例会中1時向を漫談とすることとした。  
才3講義会 苫小牧 工業学校エスグループ 毎火、土 放課後2時間毎、受講者30名 講師 渡部氏。年費入  
函館 6月13日~7月18日 函館日々新聞社後援、会場同社。講師 能登源雄、新永正吾両氏。受講者14名。用書「短期講習用書」「エス純本」(小田島報)  
小樽、初樽~6月20日~30日 小樽夜番クラブ主催 講師近藤、坂下、辺見の諸氏 受講者10名、近々才二回開催の由。
- 3 6.10 函館新聞、函館日々、函館毎日 工界講習 高永氏演説。  
6.12 \* 本報掲載による工界講習の紀事。

Sept 350

北海道エス大会 北海道各地の同志を糾合したオ一回北海道エスペラント大会は8月5日から7日までの三日間、空知郡山部市街地で開かれた。参加者は20数名に過ぎなかったが、札幌、帯広、苫小牧、板室、室蘭、函館、旭川等道内の主要な緑色郡邑の熱心な代表何同志を糾合することが出来た。更に東京から F-ino Agnes Alexander, 徳岡から井上照月氏、S-ro Josef Major を迎え得たことは全北海道の同志にとつて大きな喜びであつた。

オ2日の芋餅講習会「山部及其附近の地質学—北大理学部服部孝雄氏」 「医科哲学会の最近の傾向—マヨール氏」 オ3日新精神運動講演会 F-ino Alexander, S-ro Major, 井上氏通訳によるマヨール氏の「日本のオーイ象に就て」の公開講演は聴衆の人々に多大の感銘を与へた。

351 g 8-14 函館日日「日本とハンガリーとの友誼」ヨセフ・マヨール

352 函館 北海道エス大会出席の S-ro Josef Major の末途を被として8月2日 於10時駅前浅田屋ホテルで歓迎会開催の吉田、小島、井上、鎌田、山内、能登、佐々木の諸氏出席。Major氏は大会の照会館放送局からエス語で放送の予定。(函館エス会報)

353 F 函館日々新聞社主催エスペラント講習会

講習会 帯広、初等7月28日—8月末、木、日毎7時半—9時 聴講15名

函館 7月18日、函館日々後援のオ26回エスペラント講習会終了。今後毎週火曜日午後7時より、井上進子氏宅で輪読会を待つ。用書「ザ・メン・オブ・木下工」

J Informilo antaŭ-kongreso. (エス普及会北海道本部)

Oct 359 IK disaŭdigas paroladon de Major. マヨール氏の講演放送。

オ一回北海道エスペラント大会からの照会ヨセフマヨール氏はエスペラント普及会幹事井上照月氏と同伴、九月十三日札幌に立ち寄り十四日札幌中央放送局で「日本とハンガリーの友誼」という題で、井上照月氏通訳のエス語裏説を、午後六時半から約三十分間放送した。十五日夜は狸小路明治倶楽部三階で歓迎座談会を開いた。出席約25名。数名の F-ino の顔もみえた。両氏は更に16日午前小樽に赴きマヨール氏は当夜小樽郵便倶楽部で「東洋と西洋」と題し約一時間にわたつて講演した(小樽福田ニ一氏報)

359 F 札幌の同志とマヨール氏。放送中のマヨール氏

Nov 422 地方 小樽 小樽エス会 9月24日19時から近藤氏宅でオニ年度総会を前さ会計及事務経過報告、役員改選其他協賛。役員は会長岸洋、会計辺見、庶務斉藤の諸氏。なお最近の例会は五人程度で意気上らず唯之峰の著者初歩的な会話を待つのみ、他団体からの激励の通信を望む。小樽市花園町面ニノ二十 小樽エス会

Dec

1933

Jan

Feb

Mar

433 F 旭川エスペランティスト協会。講師中村久雄

講習 旭川 9月15日~21日 エスペランティスト協会旭川支部主催。オニ回初等講習会。英科高女にて 講師中村久雄。受講者16名

小冊 堤氏指導 受講15名。10月9日14月の初年を終り中年に移る。

J 報新新聞 9.30-10.2 「エスペランティスト協会に当つて一國語補助語エスとはどんなものか。野田喜三郎」 10.1 「エスペランティスト協会を断る」 10.2 「エスペランティスト協会」。

友道日報 10.2 「エス語とは」 「エスペランティスト協会と講演会」

Dec 422 F 板室エスペランティスト協会 (講師中村久雄。受講18名)

473 報新新聞 連盟会報 / (北海道赤十字大通り 原田三馬方 北海道エスペランティスト連盟)

連盟の組織について

Norda Brilo, la. 2; Nov. (エスペランティスト協会北海道) 印刷部明

1933 (昭5)

Jan. 24 内報 北海道エスペランティスト協会。

昨夏空知郡山部村に於けるオニ回北海道エスペランティスト大会の情勢立された北海道エスペランティスト連盟 (Ligo de la Esperantistoj Societoj en Hokkaido - 略号 Lesho) の詳細は愈々大なる11月にととのつた。本部は十勝国赤十字大通り5丁目14 原田三馬方におきき報新新聞事務所は空知郡山部村中村久雄方である。連盟の幹事は小田高米、渡辺隆志、近藤義徳、相沢治雄、中村久雄、原田三馬、三田岩大、藤野謙助の8氏である。顧問には田上北大予科教授、橋本北大助教授、高瀬教授、高瀬国幹毎日編集長の4氏を置く。同連盟は加入せるエス会と izolitaj esp. intoj とよりなる。

27 報新新聞 La Norda Kruco (空知赤十字報) N-ro III; Dec: Morto kaj Reviziigo Abdul Baha 講演集。Serpentaj Piedoj.

Feb 51 F 小冊 (小樽エスペランティスト協会)

52 雑報 12月17日19時より公園クラブに於て。遊戯に21時終了

(21名。近藤、坂下、辺見、高橋、小安、江口、勝坂、加畑、藤川、松山、本向他)

54 内 小樽エスペランティスト協会 世三回例会を会場高橋氏宅にて12月2日開催。33年度は相互通信による研究方法をとり尚その優秀通信文の研究のため随時集会をもつことにした。

小樽アンタウエン会。毎週土曜19時半より読書クラブにて研読会を催している。Terda 表を使用。講師は辺見氏。

55 報新新聞 連盟会報 (北海道エスペランティスト連盟) 連盟朝報の訳 (三田)。Tagigo 教訳 (三田) 各地消息

Marto 82 内報 小冊 オニ回中等講習会 毎月1. 13. 23日19時 稲原町近藤義徳氏宅で開催。科目は構文、文法、作文、会話にて講師は近藤、坂下両氏。従来花園町辺見氏宅にあった同会事務所は同氏の健康勝れぬため興沢町2の13 藤川哲蔵氏宅へ移転。2月

3日才33同例会を近藤氏宅にて 中特科研究会出席者7名。

★ 昨年11月から上京中の福田一氏は学会の事務共思を手返はれて大いにエス運動のため東京にて活躍されたが今度小科に帰られた。今後は同地エス会のため都活運の事と想う。

稚内 人類学協会稚内支部主催、稚内町教育会、宗谷新報、宗谷日々新聞社、昭和青年会北沢才一支部後援にて北海道北稚内町として最初のエス講習会を1月18日から一週間に亘る3時間北稚内本校に於て開催、受講者は教諭、訓導、郵便局員、鉄道員等にて41名。終講の日、会場にて小販売会を催し、エス管ス会稚内支部発表式及エス余興の夕を開いた。講師は北海道エス連盟幹事、中村久雄氏。今後は西沢氏、同支部代表者 中学教諭 竹元与平氏方にて研究会をもつことになった。

82 F La 1a Esp-kurso en Uakkanai, Hokkaido.

Aprilo 12 内取札幌 札幌エス会一人類学協会主催の初等エス講習は2月22日19時より相沢氏宅にて開演会を開く。用者 コポルド、オンドラ。

小科 Antaŭen 会 一辺見氏内親のため先我東京より帰郷された福田一氏が中特科研究会を *guidi* されている。出席者約15名。

Majo 142 内取 小科 小科エス会では3月3日19時から新藤町近藤氏宅にて才33同例会を開き先づ三月号「エス」誌本文を暗より研究し後福田一氏を招き会話方法等について紙談し次日から会話を指導されることになった。3月23日初等会話会を開き、*de* 氏円活法により福田氏持参の玩具 *Nigra kato* を教材に試用し今後は趣味的に勉強することになった (藤川氏報)

Junio 170 内取 4月14日 小科 Esp-Klubo 主催にて伊藤土屋辰兵衛と永井町の同集会場に於て19時から開催。十余名出席。福田氏の *saluto* に初り *Antaŭen* 会の松山被、小科エス会の藤川氏、藤城氏の *saluto* (すべてエス語)。23時半 *Tagiĝo* 奇唱の模範会。★ 5月1日から同 *Klubo* にて初等講習会講師は福田氏。参加者11名 (中 *F-ino* 7名)

171 F 小科エスクラブ。ザン木フ桑、加畑、坂下、福田、*Fino* 松山、*F-ino* 宇谷、脇坂、江口、藤川、大谷、高木、同夫人、*F-ino* 堀。

Julio 176 報 岩内 4月18~25日まで 岩内港にて人類学協会支那 昭和青年会支部共催の下に左郷華人分會堂に於て初等講習会を開催。講師は中村久雄氏。初日受講者25名 漸次増加して結局50名を算す。20日には岩内商業専修学校に於て同校々友会主催にて同校教員及生徒に対してエス講演会を開催

苫小牧 岩内からの消息にある中村講師を迎へた苫小牧工業学校エス会では4月28日土木教室に於て同講師のエスペラント講演会を開催会であった。同代表渡辺教諭は六月中に同校生徒エス会員8名ほどを引率の上駒田方面農業学校村の遊交ニエス会を訪問すべく特に同校教諭の下に熱心な研究会をつづけている。

## Rensyû mondai

Nipponsiki Rômazi r Esperanto-siki Rômaziノカキ  
カクノチガイヲハツカリオボエテ、ウチノカキモシヤキ。Nippongoヲニツポン  
シキRômaziニカキテ、ソノチニEsperantoノキロマシニカキ  
テオボテイランヤイ。(ハジメノKotaeヲミナシテカクヨ)

### Mondai

オカサンウトツモヨイコイテ、ウタヲウタツテ、ポンチヤノヲ  
ネムラヒテイマス。“ネンネンコロリヨオコロリヨポンチノヨイコイ  
ネンネンシテ、ポンチノオモリウドコエイタ。アノヤマコイテ、  
サトエイタ。”オカサンノヨイコイニポンチヤノウダシヤト  
イヘテニナツテ、スパスパトネムツテシマイマシタ。

### Kotae

ロマシ: Okâsan wa tottemo yoi Koe de, Uta wo  
イタラシ: Okaasan — — — joi — — — ūo

utatbe Pon-tyan wo nemurasete imasu.  
— — — -can ūo — — — — —

“Nennen kororiyo okororiyo, Bôya wa yoi Ko  
— — — kororiyo okororiyo, Booja ūa joi —  
da nenne sina, Bôya no Omori wa doko e ita.  
— — — ŝina. Booja — — — ūa — — —  
ano Yama koete Sato e ita.” Okâsan no yoi Koe  
— — — Jama — — — — — “Okaasan — joi —  
ni Pon-tyan wa dandan to ii Kimobi ni natte suyasuya  
— — — -can ūa — — — Kimoçi — — — sujasuja  
to nemutte simaimasita.  
— — — — — ŝimaimasita.

Dei 11 niĉime

Esperanto J Moĵi, Jobina, Hacuon J Sozarag

オカシ ノチ, Rōmaji ノ ステ Esperanto-Ĝiki ヲ ツカヘマス.

| Jobina     | Qomoĵi |      | Komoĵi |      | Hacuon  | Hacuon no Ĝikata                               |
|------------|--------|------|--------|------|---------|--|
|            | Insacu | Kaku | Insacu | Kaku |         |  |
| P- (a:)    | A      | ɑ    | a      | a    | P- (a:) | Kuĉi ヲ オチカ<br>アケテ, ア-ト イ                       |
| Bo- (bo:)  | B      | β    | b      | β    | ブ (b)   | ボ-ノ, ボ-ト<br>オナジニ ハツオンスル                        |
| ts- (tso:) | C      | Ĉ    | c      | ĉ    | ツ (ts)  | ゴツソ-カマ, ツオ-ト<br>オナジニ ハツオンスル                    |
| ts- (tso:) | Ĉ      | Ĉ    | ĉ      | ĉ    | チ (tĉ)  | チ-チノ, チョ-ト<br>オナジニ ハツオンスル                      |
| Do- (do:)  | D      | Đ    | d      | đ    | ド (d)   | ド-ノ, ド-ト<br>オナジニ ハツオンスル                        |
| E- (e:)    | E      | Ĝ    | e      | ĝ    | E- (e:) | E-ノ, E-ト オナジニ<br>Hacuon スル                     |
| fo- (fo:)  | F      | F    | f      | f    | フ (f)   | ウエ) Hađi Kuĉibiro<br>ヲ ナルカ カンヂ, フオ-ト<br>ハツオンスル |
| go- (go:)  | G      | G    | g      | g    | グ (g)   | ゴ-ケツノ, ゴ-ト<br>オナジニ ハツオンスル                      |
| dz- (dzo:) | Ĝ      | Ĝ    | ĝ      | ĝ    | ヂ (dĝ)  | チ-ノ) Hacuon ヲ<br>ニゴラセテ, チョ-ト イ                 |
| ho- (ho:)  | H      | H    | h      | h    | ホ (h)   | ホ-キボシノ, ホ-ト<br>オナジニ ハツオンスル                     |
| xo- (xo:)  | Ĥ      | Ĥ    | ĥ      | ĥ    | フ (x)   | Kuĉi ト フシヨニ<br>Hacuon シタガ<br>ホ-ト イ             |
| i- (i:)    | I      | I    | i      | i    | I- (i:) | Kuĉi ヲ 田ニ 出ト<br>ヒツパツチ, I-ト<br>ハツオンスル           |
| jo- (jo:)  | J      | J    | j      | j    | ユ (j)   | Nippango ) ヲ 田<br>ツヨク Hacuon シテ<br>ユ-ト イ       |
| zo- (zo:)  | Ĵ      | Ĵ    | ĵ      | ĵ    | ヅ (z)   | ショ-ト イ Hacuon<br>ヲ ニゴラセテ, ヲ-ト<br>ハツオンスル        |



イマダニナラズ、ガ Esperanto ニツカウ Moji ヲゼンブデス。  
 Nippongo デノ アイウエオ カキクケコ --- R ヨンデ イマダニ Esperanto  
 デノ a(ア-) b(ボ-) c(ッオ-) ĉ(チオ-) --- J ヨニ ヱミマス。 イスパラント  
 J Moji ヲツギ J Hjo0 デシツカリ オボエテウダサイ。

| Jobina |       | Oomoĵi |      | Komoĵi |      | Hacuon |      | Hacuon no<br>Ŝikata   |
|--------|-------|--------|------|--------|------|--------|------|---|
|        |       | Insacu | Kaku | Insacu | Kaku |        |      |   |
| ク      | (ko:) | K      | Ķ    | k      | ĥ    | ク      | (k)  | コ-キリ / コ-ト<br>オナジニハツオンシル  |
| ロ      | (lo:) | L      | Ľ    | l      | ĵ    | ロ      | (l)  | シ(Ea) サキ 42 Hagukō<br>ノモロニカキツキシ(Ea)<br>ノリヨ-ガウカキ 作ヲシ<br>ナガシ、ロ-トイ |
| モ      | (mo:) | M      | Ĝ    | m      | ĝ    | ム      | (m)  | モ-ジシ / ム-ト<br>オナジニハツオンシル  |
| ノ      | (no:) | N      | Ñ    | n      | ņ    | ヌ      | (n)  | ノ-ト / ノ-ト<br>オナジニハツオンシル   |
| オ      | (o:)  | O      | Ŭ    | o      | o    | オ      | (o:) | オ-キリ / オ-ト<br>オナジニハツオンシル  |
| ポ      | (po:) | P      | Ĵ    | p      | ĵ    | ポ      | (p)  | ポ-カー / ポ-ト<br>オナジニハツオンシル  |
| ロ      | (ro:) | R      | Ŗ    | r      | ŗ    | ル      | (r)  | ロ-ツク / ロ-ト<br>オナジニハツオンシル  |
| ソ      | (so:) | S      | Ŝ    | s      | ŝ    | ス      | (s)  | ソ-ス / ソ-ト<br>オナジニハツオンシル   |
| シ      | (ŝo:) | Ŝ      | Ŝ    | ŝ      | ŝ    | シ      | (ŝ)  | シ-キリ / シ-ト<br>オナジニハツオンシル  |
| ト      | (to:) | T      | Ĥ    | t      | ĥ    | ト      | (t)  | ト-チヤン / ト-ト<br>オナジニハツオンシル                                       |
| ウ      | (U:)  | U      | Ū    | u      | u    | ウ      | (U:) | Kuĉi ヲトガシテ<br>ウ-トハツオンシル   |
| ウ      | (wo:) | Ŭ      | Ŭ    | ŭ      | ŭ    | ウ      | (w)  | ウ-トハツオン<br>シル   |
| ウ      | (vo:) | V      | Ĥ    | v      | v    | ウ      | (v)  | F) Hacuonヲ<br>ニガシテ、ウ-トイ   |
| ゾ      | (zo:) | Z      | Ĵ    | z      | ĵ    | ズ      | (z)  | ゾ-キリ / ゴ-ト<br>オナジニハツオンシル  |

Dai 12 niême

Nippongo kara Esperanto 工

イタリ ムカウ Esperanto J Benkjo 9 HUXXJ9-  
マズ ツギノ カナモトニツギシツ 9 Roomaji; ナ カイテ ヱラシヤサ。

キエ ピア トラ 丸コ カツロ

ムカウ Roomaji-Nippongo = カナモト,

kimono piano tomato tabako Sapporo

ツギニ ムカウ ヱラシヤ 9,

キエ- ヱラ- トマ-ト 丸コ- カツロ-

J 9-ニ, アカ カラ 2-banme J Boon 9 ヱラウ, ナカニ ヱラ ト ヱラ  
マズ ムカウ Esperanto = ナカ 9。 ヱラシヤ Imi 9 Nippongo  
ト マズカ オトシマズ。

Tango

Tegami ナ Bunsoo 9 ナカ ナニ 9 イタリ Imi, Kotoba 9  
イタリ ヱラシヤ 9 ナカ- ナカ カナモトニツギシツ ナ, ムカウ, Kotoba, 9  
9 ヱラシヤ 9 Tango 9 イタリ。

9 9 マズ- 9 9 9 ヱラシヤ, ツギ 9

ナカウカ ナカウ ナカウ ナカウ ナカウ ナカウ

9 イタ 9 ムカウ Tango 9 Roomaji = カナモトニツギシツ。

Amerika Azia antena banana Kanario kamero

9 イタリ。 ムカウ Roomaji ナ カイテ Tango 9 ナカウ "a" 9 9  
9 9 "o" = ナカウ。

Ameriko Azio anteno banano kanario kamero

9 ナカウ ヱラシヤ 9 Tango 9 ヱラシヤ Esperanto = ナカウ。

9 ヱラシヤ 9 Tango 9 ナカウ 9 2-banme, Boon 9 9 ナカウ

アメリコ アライオ アンチ-ン パナ-ン カリコ タキ-コ

ト ムル Esperanto / ムニカ = ナリス.

ソノツギニ

ガス テニス インキ

ト イウ 3コノ Nippongo / Tango ヲ ソノマ Roomaji = ナリス  
ト ツギノ ヨニ

gasu tenisu inki

ト ナリス. コノ Tango / サイゴノ Moji / "u" "i" ヲ "o" =  
カシ

gaso teniso inko

ト スル Esperanto = ナリス. ヲシテ コノ Tango ㊦ ナリ ア  
カク 2-banme / Boon ヲ ナリ

ガ-ユ テニ-ユ イ-ユ

ト ムル イイノ ナリス. Nippongo /

パン ピンポン

ト イウ Tango ヲ

pan pinpon

ト Roomaji = ナリス, コノ Tango / サイゴ = "o" / ヲ  
ヲ イウニ カキカケシ

pano pinpono

ト スル Esperanto = ナリス. ㊦ ナリ コノ Tango / ム  
カク ㊦ ナリ 2-banme / Boon ヲ ナリ ナリ イウニ カキカケシ

パ-ユ ピンポン-ユ

ト ムル イイノ ナリス.

ナリ ナリ オボシ 16コノ Tango / ナリ ㊦ ナリ ナリ.

| カタカナ | ROMAJI    | ESPERANTO | (ヨミカタ) |
|------|-----------|-----------|--------|
| キモノ  | → kimono  | → kimono  | (キモノ)  |
| ピアノ  | → piano   | → piano   | (ピアノ)  |
| トマト  | → tomato  | → tomato  | (トマト)  |
| タバコ  | → tabako  | → tabako  | (タバコ)  |
| サッポロ | → Sapporo | → Sapporo | (サッポロ) |
| アメリカ | → Amerika | → Ameriko | (アメリカ) |
| アジア  | → Azia    | → Azio    | (アジア)  |
| アンテナ | → antena  | → anteno  | (アンテナ) |
| バナナ  | → banana  | → banano  | (バナナ)  |
| カナリア | → kanaria | → kanario | (カナリア) |
| カメラ  | → kamera  | → kamero  | (カメラ)  |
| ガス   | → gasu    | → gaso    | (ガス)   |
| テニス  | → tenisu  | → teniso  | (テニス)  |
| インキ  | → inki    | → inko    | (インク)  |
| パン   | → pan     | → pano    | (パン)   |
| ピンポン | → pinpon  | → pinpono | (ピンポン) |

ユラジ E-162, Esperanto / Tango の 補綴 7ヶ あります。  
2) 162) Tango の 補綴 10ヶ あります。2ヶ) Koto に 補綴  
2ヶ あります。3) E-7。

① Esperanto / Tango / 補綴) Moji の 1ヶ "O" だけ  
あります 1ヶ 1ヶ だけ

E- E-7

② Esperanto の 3ヶ だけ 1ヶ だけ Tango / 補綴 2ヶ  
\*) Boon の 補綴 に 3ヶ Hacuon あります 1ヶ だけ

5) ①, ② の Esperanto / Bunpoo / E-7 あります 3ヶ だけ  
補綴 あります あります。

Bunpoo

Kotoba の 補綴) Bunpoo の 補綴 あります 1ヶ / Kimari の  
Bunpoo 1ヶ あります。

Meiŝi

10ヶ Kotoba / 補綴 Hito / 補綴, Toĉi / 補綴, Ŝi-  
namono / 補綴 1ヶ 10ヶ Monogoto / 補綴 の 補綴 Ta-  
ngo の Meiŝi 1ヶ あります。補綴 補綴 162) Tango の 3ヶ  
Meiŝi あります。

Nippongo / Meiŝi 補綴 Tango / 補綴) Moji の -o, -a,  
-u, -i, -n だけ 10ヶ 補綴 補綴 補綴 補綴 補綴。 Esperanto  
補綴 Meiŝi の 補綴 -o だけ 補綴 あります。

2) 3-2 Esperanto / Meiŝi の, Tango / 補綴) Moji の  
補綴 "O" だけ あります。

Nippongo / Koto, Mono, Neko, Tako 1ヶ Meiŝi の  
補綴) Moji の 3ヶ O だけ 補綴 あります。2) 補綴 Esperanto の  
3- あります。

Gobi

Tango / 補綴 / 補綴 Gobi 1ヶ あります。補綴 補綴 補綴。



Osaradai

イラダ = イラッ Koto ヲ オサダ ヲシム。

ツギ Mondai = コダマ ヲシム。

1. Nippongo ヲ カ Roomaji / Moji / Kazu ノ イツ ナク?
2. Esperanto ヲ ナ Moji / Kazu ノ イツ ナク?
3. Esperanto ナ ヲカ Moji / ナ Roomaji = ナ Moji ヲ  
カキ コエナク?

4. ツギ ナク Esperanto-Siki Roomaji ナクナク?

シチ ヲ P 13 ノ シチ ツ キ キ キ シュ シュ シュ キ キ キ  
 ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ  
 シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ

5. ツギ Moji / Hacuan ヲ ナク ナクナク?  
 fa fi fu fe fo va vi vu ve vo si zi ti tu didu  
 ca ci ce co la li lu le lo ji je ūi ūe ūo ha hi  
 hu he ho sa su se so ja ju je jo ga gi gu ge go

6. ツギ Moji / Hacuan / Sikata ヲ Bunsoo = ナクナク?  
 F V J Q H

7. ツギ Kotoba / Imi ヲ ナクナク?

- Boon
- Sion
- Bunpoo
- Tango
- Onsecu
- Gobi
- Meisii

8. Esperanto / Meisii / Gobi ノ Boon / ナク ナク Moji ナク  
 ナク ナクナク?
9. Esperanto / Akcento ノ Tango / ナク ナク Text?
10. Tango / Boon / Kazu / Onsecu ノ ナク Kankei ナク  
 ナクナク?

(Kotae ノ ナ Hon / Usiira = ナク イラダ)

# Dai 13 niĉime

Esperanto-Siki Roomaji / 3333

Kimono, Piano, Tomato, Tabako, Sapporo 100 33  
Sion + Boon / Kataĉi = 100 100 / 100 Roomaji 100 100  
100 Nippongo 100 100 / 100 Boon 100 100 100 100 100  
100 100 Hacuon 100 100 100 100 100.

100 Esperanto 100 Boon 100 100 Sion 100 100 Tango  
Sion 100 Sion 100 100 Tango 100 100 100. 100 100 100 Sion,  
100 100 100 Tango 100 100 100 100 Benkjoo 100 100.

100

ka se mi to ru ŭa ja ĉa ce

100 100 Boon 100 100 100 100. Nippongo /

ka se mi to ru ŭa ja ĉa ce

100 100 Hacuon 100 100. 100 Sion 100 Boon 100 100 100.

ak es im ot ur aŭ aj aĉ ec

100 100 Boon 100 100 100 100 100 100 100. 100  
100 100 100 aku esu imu ... 100 100 100 100 100 Moĵi 100  
100 100 100 100 100 100.

100 100 Hacuon 100 Rensuu 100 100 100 100 100 Boon  
100 100 100 100 100 100 100 100 Hacuon 100 100 100 = 100  
100 Sion 100 100 100 Hacuon 100 100 100.

100, 100, 100, 100, 100, 100, 100, 100, 100, 100

100 100 Hacuon 100.

100 100 100 100 "Esperanto," 100 100 100 100  
100 100 E-s-pe-ra-to 100 100 100 100 100 Sion  
100 100 100 100 100 100 100 100 Hacuon 100 100 100  
Sion 100 100 100. 100 100 100 / 100 100 Hacuon 100 100 100  
100.





この Tango は Boon が 10 文字から 1-onsecu だけ、アクセント  
の ツキマゼン。

Moji estas knabo skio akvo stampo

Hacvon E-スタス ヲナボ スキオ アクボ スタムポ

Imi (---デス (エ-ネン スキ- エズ スタンプ  
--ガ アル (オナボ)

ウエ) 5) Tango の エナ Boon が 20 アル 1デ 2-onsecu )  
Kotoba デス、ソレヲ Akusento の “ア” から 2-banme ) Boon  
(Moji ) ヲナニ “ ” の ツキマゼン Boon ) = ツキマゼン Hacvon )  
エナ ヲナニ “ ” ナル ) デス。

Moji knabino akcento honesto strangulo

Hacvon ヲナビノ アクツエント ホネ-スタ スラング-ロ

Imi (エ-ジョ アクセント エ-ジキナ アンツコナ ヒト  
オナビノ)

コ) 4) Kotoba ニハ エナ 3) Boon が アル 1デ 3-onsecu  
Tango ダル、イナ ヲナニ ナリマス。Akcento (アクツエント) の “ ”  
ソレヲ ツキマゼン Boon )、トナニ “ ” ツキマゼン Hacvon “ ” ナリマゼン。

Moji dekstra pseŭda ĉirkaŭ

Hacvon デ-クストラ プセ-ナダ チ-ルカウ

Imi (エダ) (ニセモノ) (マナニ  
オ-ヨ)

ウエ) Tango の ヲナニ “ ” ツキマゼン Hacvon ) ヲナニ Renĉuu ナル コト。  
Tango の ナガイ が 2-onsecu だけ、アクセント “ ” ナリマス。



## 室蘭エスペラント会の誕生

室蘭エスペラント会がとうとう誕生した。五八年九月二六日のよる。思えば長い険難の期間だった。

エスペラントの熱心な活動家加茂節子さんの奔走で、サメソフ祭を契機として、エスペラントに関心をもつ十余名の者が集つたのが五六年の四月十四日だから、その日から数えるとすでに二年半に近い月日が流れてきている。もつとも、その間なにもしなかつたわけではない。それどころか一度禁じられたエスペラントの聖火を消さぬために、及ぼり強い努力がこの聖火奉持者によつてつづけられて来たのである。そしてこの奉持者は前記加茂さんと、最初から仲間の手助けをしてこられた古い（三十年代学者）エスペラントナストの平田老雄さんのお二人。

最初の集いのあと、室蘭図書館の一室を借りて隔週一回の講習会がはじめられた。テキストは小坂先生の〈エスペラント講習用書〉であった。

このようにして発足当初は寂しさを感じるかに思われた希望の聖火であつたが三月とたち、半年とすぎるとうちにどんどん出席が盛んになってゆき、学習にやさしいといわれるエスペラントの場合でも、他の語学講習会阿鼻叫喚の状況は避けられなかつた。それで会場を平田さんのお宅にし、三、四人の人数によつて細々と、しかも根気強くつゞけられるようになった。

その間加茂さんは札幌大会へ出席したり、昨年の名古屋大会まで出るに参加したりして、エスペラントに対する愛護と敬意を示し、わずかに脱落をまぬがれている私共に大きな励ましを手えてくれた。

そうこうしているとこゝろへ三宅先生の（初級読本）が出たので、思い新たにまたこれから初めようと、残留三名に新人四名、復活者一名の八名で、今年の一月から再び平田さん宅で毎週金曜日（午後六時半から八時半まで）の会合がはじめられた。

そうしてこの九月、どうやらこうやら〈初級読本〉の学習を終えて会員はお互に一つのものを作り終えた比の顔を見合つたのである。

しかしながら、この九月月は必ずしも涙滿にたどられた日月ではなかつたのである。一、二名の出入りは勿論あつたし、今比びをかわし合つ

ている会員の殆んど誰れもが、二、三通つ折けての欠席という風を保持  
たなかつたわけではなかつたのである。それだけに一冊の本をまがりな  
りにも学び通したという長ひが大きいのかも知れない。

このような訓練を経てこゝまでたどりついた。この七名はもう脱却す  
るようなことはおそらくあるまいと思われ、チーム・ワークも至極よろ  
しい。このことは、今年の大隈大会に参加した五名によつて、その会場  
でエスペラントによる人形劇を披露したという、コメントアットにして  
は大胆な試みによつてその一端はうかがわれることと思ふ。

〈初級読本〉を終えた自信?と花ひを記念し、且また、そうなればし  
うのつがまならないかたという折水の陳を肩く意味合いも含めて、この  
辺で重蘭エスペラント会の名のりをあげようではないかということが誰  
からともいい出されて、全会員異議なし!でかくは誕生をみたのである。  
そして十月五日の国際交通週間記念切手の発行を記念に、全会員それぞ  
れ希望の国のエスペランチストに宛て、国際交通のキ一信を出そうとい  
う歌り切り方なのである。五六年の時とはまた違った、一歩進んだ大  
きな希望にあふれているのである。

為会の当夜更に一名の新人を加え、潜任会員も二、三名あるのでこれ  
からは前とは違つてだんだん先太りになつてゆくことだろう。

なつて加えると、この間に、加茂さんへの連絡によつて、重蘭に近  
い地方で一人コツコツ学習をつづけている同志、成田次一氏の二回にお  
たる系南女友や、東京の安馬院<sup>アヤマ</sup>、京都の中泉<sup>ナカノ</sup>二氏等の承諾があつて  
同志的交際をしたことは、エスペラントに対する認識と愛情を深め、私  
共の学習への力づけになつたことである。また今でも会員の皆が熱心に  
思い、申訳なくも思つているのは、英国の同志シン・フギンスの系南の折  
加茂さんが旅行中で連絡がとれず、とうとう誰もお迎え出来なかつた事  
である。〈エスペラント〉に同氏の全国の同志訪問の記事や写真が載つ  
たのをみた時、この熱心と申訳なきは一層深められたのである。

さとう 実

「むろ

去る

名前を

ノ月

までの

初級読

かひ;

た、こ

ひ終り

ラン

会

てい

会

評

会

者

額

尚

今

交通

地図

後

さん

く

く

私

願

# 「むろらん」より



去る7月26日に、きょうよう「皇蘭エスベラント会」というリッパな名前をもってウチ声をあけました。

1月から毎週金曜日に28人の出席者で18時30分～20時30分までの2時間、そのうち1時間はS-10 Hirtelのリードによって、初級読本をテキストにして学び他の1時間は、Kanto, Iido, そして、bibliado などの楽しいKuisidoを平田さんのお宅で開いていました。これから尚金曜会はつべけれども、1応、初級読本をこのたびに終りましたので、こゝで会をつくろうとスウキがおこり「皇蘭エスベラント会」として発足したわけです。

会員は12名、男子6名、女子6名でほとんどがoficistaでめめています。役員は次の様に決まりました。

会長 シバラク皇齊

幹事 平田岩雄(日銀) さとう 実(簡派)

会計担当 佐々木実(日銀) 鈴木政治 ( )

書記 カモ セツ子(ナラ)

顧問 増田 真(皇蘭工大) 屋田 淳(苫小牧王子)

(上記お2人には目下郵引さ受け下さいます様にとお願ひしている所です。

尚、事務所は、皇蘭市東町40 日鋼社宅東隣298号 平田方です。今の所活動方針という方針はもつていませんが10月5日からの国際交通週間を機に、国際交通にちからをそそぎながら、蒸までには自身の地固めをしたいものと同志/同がおもっている事です。

機になりましたが、いつもかけになつて私連にお力添え下さつた平田さんの奥さん、苫小牧からはしは応援下さつた屋田さん、そして、おゝくの Samidearoy のみなさんに、発会を機に、こゝに改めて厚く御礼申し上げます。

私連の仕事は、これからです。今后とも何卒御指導下さいます様にお願いいたします。

(カモ)

# Ludon en nia kunsido!

Sacuko Kamo.

Mi estis tiel pensema, kiel ludo ekzistas nur por infano. sed la 22-a Japana ESP-Kongreso okazigita en Nagoya, kiu enhavis parton de amuzajoj, rakontis servorte al mi, ke ludo kondukas eĉ plenaĝulon en la najvan mondon, kaj ke intima kaj junega atmosfero per ludo naskiĝas en kurveno.

Mi do volas prezenti kelkajn ludojn el "Per kio ni amuzu nin?" eldonita de Stockholmsocieto Esperanto. Ŝajnas al mi ke la ludoj faros ĝajan atmosferon, kaj plej eble nepos nian lernadon.

## 1) La kruela sep

Unu el la ludantoj diras la numeron unu (1). la maldekstra najbaro diras du (2), ties maldekstra diras tri (3) ktp. Malpermesite estas diri numeron sep (7). Ĉiuj nombroj en kiu troviĝas sep (7) kaj la nombrojn, kiu estas divideblaj per 7. Anstataŭ tiuj nombroj oni devas diri "tri". Kiu tamen diras unu el la malpermesitaj nombroj, tiu devas doni garantiaĵon kaj ekŝigi el la rondo. Post kiam iu ekŝiĝis el la rondo, oni komencas denove de numero unu (1) ĝis nestas nur unu sola el la kunludantoj.

(Ĉe nia kunsido tiu, kiu diras malpermesitan vorton, devas kanti esperante aŭ prezenti sian nekonsentan lertaĵon poste la fino de ludo S. K.)

## 2) Kompletiga Vorto

Iu en la societo ĵetas poŝtukon al alia kunludanto, nomante ĉe tio iun simplan objekton. Tiu al

Kin oni ĝetis la poŝtukon, devas senprokraste diri alian vorton, kiu konformiĝas kun la antaŭe dirita vorto, ekz: tablo - tuko, akvo - glaso, fingroringo ktp. Oni povas ankaŭ diri vortojn kun adjektiva finaĵo: ekz: blanka - pano, nigra - inko, fenestra - kurteno ktp. Se iu malŝue respondas aŭ aldonas nekonformajn vortojn, li estas punata per garantiĝo:

### 3) Roman - ludo

Ĉiu ludanto havas paperslipon. Sur ĝi ĉiu respondas skribe la demandojn de la lud-gvidanto:

1. Kiu estis li (kontulo) ?
2. Kiu estis ŝi ?
3. kie ili renkontiĝis ?
4. kiam ili renkontiĝis ?
5. kion diris li
6. kion respondis ŝi ?
7. kien ili iris ?
8. kion ili faris ?
9. kio estis la rezulto ?
10. kion diris la homoj ?

Ĉiu ludanto skribas nur unu frazon sur ĉiu slip, faldas ĝin tiel ke la teksto ne estas videbla kaj poste transdonas ĝin al sia maldekstra kamarado. Fine oni laŭlegas la "romanojn".

# 室蘭エスペラント会規約

1958. 9. 26

オ1條 この会を室蘭エスペラント会 (Muroran Esperanto Societo) と呼び、事務所を、室蘭市東町40、日鋼社東棟298号に置く。

オ2條 この会は、室蘭地方在住のエスペランティストを以つて組織する。

オ3條 この会は、会員相互の親睦を深め、国際語エスペラントの普及発展を図るのを目的とする。

オ4條 前述の目的達成のため次の事業を行う。

1. 国際語エスペラントの研究、調査、発表、
2. 講究会、講習会、展示会の開催
3. 其の他目的達成のため必要な事項

オ5條 この会に次の役員をおく。

1. 会 長 / 名
2. 幹 事 若干名
3. 会計並 2 名
4. 書 記 / 名

オ6條 この会に、總會の承認を得て、顧問若干名をおくことが出来る。

オ7條 会長は会を代表能幹する。

幹事は、会務をたすけ、会の運営にあたる。

書記は、会計並に一般事務に従事する。

オ8條 役員の選任は、總會に於て会員の互選による。

役員の内任期は1年とする。但し再任を妨げない。

オ9條 この会に次の機関を設ける。

1. 總會
2. 役員会

總會は、年1回開催し、予算、決算、役員を選任、規約の変更その他重要事項を協議、決定する。

役員会は、必要に応じ随時開催し、会の運営上必要事項を協議し、その実施に當る。

オ10條 会員の1/3の要求があるとき、及役員会で必要を認めるときは、随時に總會を開くことが出来る。



オ11條、この会の至費は、会費及その他の収入金でまかなう。

会費は、月 50 円とし、毎月 5 日迄に納入するものとする。

会計年度は丁年に従う。

オ12條、この規約は、1958 年 9 月 26 日より異効する。

× 上

## 小樽エスペラント会便り

小樽エスペラント協会では、本年度第一回の入門講座を五月十九日以降、毎週月、不曜夕六時から、小樽原証牛乳会社二階で開催。講師は、高橋運治、横山良勝、竹内五男の五代と報告者（早川洋）が順次交替して勤めたが、聴講生は多数の隙で、九名を算えるにとどまった。同会場は七月十六日以降は、毎水曜夕六時半から山賀眼科待合室を充てるという事にした。

英蘭の同志 S-to Simpkins と藤本達生氏の一行を札幌から我が我がが迎えたのは、七月六日夕暮れ近くだった。其の間、山賀眼科待合室では、両氏を迎えての談笑の集いがつづいた。両氏のお宿は小樽駅に近い住家屋だったが、お立ちの前夜などには、そこへも協会員の歓迎の場は勤いた。

両氏は小樽に任つて、展望台の絶景から、驚くなかり、火葬場までを案内人なしに、またバスにも乗りずに、見物された。そのお宿のノーボクタイと共に、ちよつと我々には、オドロキであった。高橋氏の *de hejmo* を訪ねられたり、また道博赤西会場を御覧になつたりされた後で彼らは、十日朝のバスで恐喝のストーン、サークルや奮闘の古本文字河原にお寄りになりつゝ余市へ出られようとされたが、余りにバスが混むようなので、途中の蘭島までは汽車で行かれた。特に、十時

七月二十六日には、もと札幌女子短大の同志で、今は日高平取高校の教諭をして居られるナガタ、アキ子嬢が、同じく同志で教諭の戸田様と、道博小樽会場御覧の歳、学生さん達も勢について御来樽になつたので、協会では其の間、両嬢と其の御友人を山賀眼科待合室に迎えて、短時間ながら楽しい座談会を開催した。上一行は同志は西陵中学に於いて一泊、翌日、道博小樽の両会場を見て、戻る後に札幌の道博におもむかれるとの事だった。

## 第22回北海道エスプラント大会プログラム

13.00 受 付 委員長 坂下  
委 員 増田、芦田、福島、稲野、三宅

13.10 } エスプラント 普通科検定試験  
14.10 } { 試験場 坂下、相沢、星田  
{ 会場 相沢、星田

14.30 大会開会あいさつ (司会者) 高橋(要)

エスペーロ合唱 (全員)

洋備委員長あいさつ (洋備委員長) 坂下

大会議長進出

議長あいさつ (議長) 吉田栄

祝電放映 (4通)

地方会 事業報告 (各地方会代表)

オタル、ムロラン、トマコマイ、ユ  
ニ、エベツ、ハコダテ、北大、サツ  
ボロ

### 議題懇談

16.40 自己紹介とあいさつ (全員)

京都 中原氏あいさつ

17.15 記念撮影 (全員)

17.55 余興 (人形劇-ムロラン) (ゴラス-サッポロ) (その他)

18.30 晚さん会、座談会

19.30 映 画

20.05 閉会あいさつ (司会者)

20.45 タギージョ合唱 解散

~24~

天  
名  
来  
の  
え  
ら  
選  
会  
は  
派  
な  
か

★ L

# LA 22-a KONGRESO de HOKKAIDO ESP-TISTOJ SAPPORO LA 9-an de Aŭgusto 1958

## Oficiala protokolo

1958年8月9日(Sabato)は好天に恵まれ、我々の平和の業いに対し天も心からの贈物を我々 Esperantistoj に下さった 林に思います。出席者 47名、欠席参加者 18名、計 65名と、Hokkaido Esperanto Kongreso 始つて以来の多数の Samideanoj を迎え又速く東都から samideano Nakaharaが見えられ又 Esperantisto の普通科認定試験を行うなど、又オニ日は北海道博覧会の見学など 蓋沢山の行事があつてオ一日目の札幌市産業会館三階ホールは楽しさに満ちあふれて愛蔵者まで昨日迄の深刻そうな顔はどこにも見られなかった。

## La unua tago.

Sabate, la 9-an de Aŭgusto  
en Sapporo Sangjo Kaikan  
(ĉe tria etaĝa kunvenejo)

### ★ La akceptejo malfermata ..... 12. 30

Programo によると ekakcepto は 13.00 であつたが、13.00 にはすでに予定の半数が集ると云う好調であつた。

akceptitaj membroj

realaj ĉeestantoj 47

forestaj partoprenantoj 17

---

tutaj partoprenantoj 54

★ Ekzameno ..... 13.20 ~ 14.00

★ Saluto de ekkongreso ..... 14.45  
de S-ro Takahaŝi Jooiĉi.

## Malferma Saluto

"Sankta estas por ni la hodiaŭa tago.

Modesta estas nia kunveno; la mondo ekstera ne multe scias pri ĝi....."

La vortaj estas prezentitaj de nia majstro d-ro Zamenhof okaze de la unua Kongreso Universala en Bulonjo. Al ni ŝajnas ke la momento estis la plej emocio-plena al d-ro Zamenhof. Kaj ni kolektiĝas rememorante la momenton unu fojon en ĉiu jaro.

Nu, karaj gesamideanoj, hodiaŭ ankaŭ estas benata. Nun ni ĉeestas ĉi tie el diversaj lokoj de tuta Hokkaido por festi la 22-an Hokkaido-Esperanto Kongreson.

Al ni ĉiuj la tago estas tutkore atendata de antaŭ jaro, ĉar ĝi estas bona ŝanco interkonsitiĝi pri diversaj problemoj pri esperanto kaj interkomunikiĝi samideaneme unu la alian.

Karaj gesamideanoj, jam la tempo estas preta malfermi nian Kongreson.

★ Horo de Espero ..... 14.50

Saluto de prepara komitato ..... 14.55  
de S-ro Sakaŝita

Karaj gesamideanoj ĉeestantaj! Mi havas honoron saluti al vi en la nomo de prepara komitato de la du-dek-dua Hokkaido-Esperanto Kongreso. mi esprimas

sinceran  
lokoj en  
Kun  
ni dezira  
Mi  
sed ne  
Esta  
kaj plie  
Bonvo

親愛なる皆

オニナ

接申上

本日は

存じま

札幌の

戒され

F-ingo

ガク湖

今回平

じます

時に手

昔小牧

別。上

本日は

ました

カであ

寒によ

厚くお

大会は

りでご

お見え

大いに

終して

sinceran bonvenon al vi ĉiuj partoprenantoj el diversaj lokoj en tuta Hokkaido.

Kun multaj helpoj ni arangie kunvenon hodiaŭan ni deziras ke la kongreso estu tre kontenta por vi..

Mi pensis la kongreso estas futo ĝoja kaj gaja sed ne severa, ne celemoniema.

Estas ne taŭga por mi celemonia Esperanta parolado kaj plie mi ne kutimas paroli esperante. Estas tre bedaŭro. Bonvole permesu min uzi japanan lingvon.

### 親愛なる皆様！

オニ十二回北海道エスペラント大会準備委員会を代表いたしまして御挨拶申し上げます。

本日はお暑いところ全道各地より多数お集り頂きまして誠にありがとうございました。吾々準備委員一同心からお礼申し上げます。昨年の大会以後札幌の同志が集会の都度本大会に就て相談し合い自覚と準備委員会が形成されてきて S-roj アリマ、タカハシ、アイザワ、西田、ゴトー

F-ingoj フクシマ、マズダ、イナノ、ミヤケ、それに在札当時の F-ingo ナガタ清氏の御協力によりまして本日の盛大な大会を持ち得ました。特に今年学力検定試験を開催出来ましたことは大会を有意義にしたことと存じます。この会場も今年一月に予約しました。博覧会の前売券と発売同時手配致しました。本日の申込は 61 名で札幌 27、小樽 7、釧路 5、苫小牧、函館、江別、由にる 3、ヒラトリコ、他留萌、北見、厚田、札幌、上厚真、伊達各ノとなっております。

本日はニュージーランド領事館からエスペラント版の映画をお借り致しました。これは小樽の山賀博士の御指示と日本エスペラント学会の御協力であります。尚映写機とフィルム及び技師さんは北海道開発局の御好意によりまして、これは S-ro アリマのお世話によるものです。併せて厚くお礼申し上げます。

大会は年に一度各地からの同志が久しぶりに集って楽しく語りあうお祭りでございます。堅苦しく考えないことに致しましょう。初参者の方もお見えで話せないしよく聞けないという方は日本語で結構と慰めます。大いに語りあつて下さい。又この機会に大いに雄弁を發揮される方も期待しております。今日はこの会場で楽しく過し明日は道博、夏祭り時。

この大会を有効に御利用されます杯念願致しまして御挨拶といたします。  
*Fine mi deziras al vi felicax kaj gajan kongreson kaj dan-  
kas elkore vian partoplenon! Dankon.*

★ Rekomendo de prezidanto \_\_\_\_\_ 15.00

aranĝanto の推薦で函館の S-ro Jošida が全員の拍手をもって prezi-  
danto に推された。

★ Saluto de prezidanto \_\_\_\_\_ 15.03  
de S-ro Jošida en Hakodate.

道感ながら書記が未熟なので Saluto は Esperanto で行われましたが  
そのまま速記する事が出来ませんでしたので概略を Japane で記させ  
て載せます。

私の旅な者が此の大会の誤良をさせて戴ける事は大変光栄に思います。  
始めに昨年の小樽の大会以来努力されて来た準備委員会の方々にご心から  
感謝致しております。★にはるばる京都からお祝文になりました著名な  
Esperantisto 中原氏をお迎え出来た事は大きな喜びです。  
大会の大きな目的はあたたかい雰囲気を作る事でありますが、私はここ  
にどれを感じて大変うれしく思います。最後にこの大会をたくみに  
aranĝi して下さる Sumideano Takahashi に感謝致します。Dankon!

★ Prezentado de gratulaj telegramoj \_\_\_\_\_ 15.07  
de aranĝanto

°ゴセイカイヲシュクシ コンゴノゴハツテンヲイノル。(丸イスレン)  
de Kjuŝju Esperanto Ligo

°ゴセイカイヲシュクス。(イインカイ)  
de Hakuoka Esperanto Komitato.

°ヴイーヴ エスペラント ヴイーヴ パーツオ。  
de S-ro Imoue en Hakodate

°タイカイバンザイ ミナサンオメデトウ フサンカオエルシコウ。  
de S-ro Okamoto en Mikasa

★ Raporto de Lokaj Grupoj ————— 15.10

1. OTARU (S-ro Hajakaŭa.)

Vole pardonu min ekparoli al vi ĉiuj pri la movadivado de nia Otaru Esperanto Asocio.

Depost nia lasta kongreso en Otaru, flue jam pasis dek monatoj kun ravedolĉaj rememoroj. Jus nun al mi venas la momentoj por rimarkigi iujn al vi ĉiuj kiel la agadoj de ni asocianoj.

Ĉi-jare nia elementa kurso estis okazigita de la 19-an de Majo al la 14-an de Julio ĉe la kompanio "Otaru Hoŝoo Gjunjuu Kaiŝa". Por instrui tie laboris kvar asocianoj ĉom post lern, nome S-ro Tacuŝi Takaŝi, S-ro Joŝikacu Jokojama, S-ro Icuo Takeuĉi, kaj mi mem. Kaj tiam ni havis ĉirkaŭ dek gelearnantojn. Ĝi ankoraŭ nun, kunligite kun la kunveno de la mezgraduloj, daŭras de la duono kaj sesa horo ĉiun merkrede ĉe la malsanejo "Jamaga-Ganka", sub gvido de S-ro D-ro Jamaga. Sed tamen, tie nun mankas la originalaj gekomencantoj, tute bedaŭrinde. Ni kredas, ke ĉi malsukceso donos al ni multon en la estonteco.

La 20-an de Aprilo ni akceptis viziton de iu inĝeniero apartenanta al la vaporsipo "Hotakasan-maru.. Li nomiĝis S-ro Takaŝi Kaŭai. Li promesis al ni, ke liaj fotografitaj ok-milimetroj-filmoj koncerne la vidindaĵojn de eksterlandaj estos prezentita por ni ĉiuj kiam li revizitos la urbon Otaru en ĵusa Aŭgusto. Sed tamen, mi estas tute bedaŭrinde, ke la anonco de Oasaka donita al mi lastatenpe estas kiel jene:

Estimata Sinjoro

Ni finis tri monatan vojaĝon kaj revenis japanujon sed bedaŭrinde mi ne povos viziti vian urbon.

Ĉar ni devos foiri rekte al usono de Jokohama en meze de tiu ĉi monato, nia venonta vojaĝo estas decidita kiel jene Kobe, Nagoja, Ŝimizu, Jokohama, San Francisco, Los Angeles, Panama, New York, Antwerp, Rotterdam, Hamburg, kaj poste denove Usono, Japanio.

Via T. Kaŭai

藤高山丸 川合隆史

Ĉiuj gesamideanoj ĉirkaŭ nia urbo ne estu pesimisma, mi petas.

La 6-an de Julio, ni, neatendite sed ĝoje pro la antaŭkonigo de Fino Satori Kita en Oosaka, akceptis viziton de S-ro Sumpkins kaj S-ro Hufimoto. Ili tranoktis kvin tagojn en la japanmaniera gastejo monata Sadoja, proksima de Otaru Stacio. Dum ilia restado, ili volonte vizitis S-ron D-ron Jamaga en ĉiu de tri vesperoj, kiam okazis nia interparola kunveno. Precipe prespera estis tiu de la dua vespero, okaziginta post nia bonveniga kunsido ĉe japanmaniera restoracio.

La duan tagon ili rigardis la du dinidaĵojn de Otaru-Sekcio de La Hokkaidoo Granda Ekspozicio, akompanite de S-ro Takahaŝi. Ne miru, mi petas, ke ili la trian senĝvidite ĉirkaŭrigardis la urbon, komence de belvedera turo al la kremaciejo.

La kvaran, ili vizitis la Ŝoven-Sekcion, eble senĝvidita. Reveninte de tie ili akceptis plurajn vizitantojn el nia asocio

Kaj, finfine venis al ni la adinŭta tago, meevitebla matene de ilia kvina tago mi vizitis ilin ĉe





#### 4 JUNI (de S-ro Nitta)

皆さん私は本日の此の大会に参加出来ました事を心からうれしく思います。S-ro Takahashi の bonarango に対して、又 prepara komitato の皆さんに心から感謝致します。残念ながら由仁の活動の報告が出来ずアイサツのみに終りますが、此の大会が成功裡に終る事をいのみります。

(S-ro Nitta には誠に失礼ですが Esperanto のまま 速記出来ず)  
(Japano で書いた事をお許し下さい)

#### 5. EBECU (de S-ro Macuo)

*Karaj Gesamideanoj!*

*Mi estas tre ĝoja ke tiu ĉi kongreso malfermas tre sukcese dank'al Sapporo-aranĝantoj.*

*Mi kore dankas ilin.*

*Nun, mi havas honoron raporti pri nia movado de Ebecu Esp. Societo, sed tio baldaŭ ŝanĝiĝos en malhonoro. Ĝar ni faris neniu esperantistigi. Se mi scias pli, mi povas raporti jenajn.*

1. De 7-an al 20-an Okt, 1957

*Elementa kurso, ĉe la 江別産業会館 kaj mia laboratoria. Partoprenantoj 5.*

*Gvidantoj estas S-ro Arima kaj S-ro Macuo.*

2. 28-an de Oct. 1957

*Fondiga festo de Ebetu Esp. Societoj ĉe 江別製粉 白領荘 Partoprenantoj 18.*

*Tioj sukcesis pro la bonkora helpo de S-ro Arima*

3. Korespondo, kun alia landanoj kaj Yokosuka-esperantistoj.

*Finfine, Mi povas profeti ke nia grupo estos progresi plie per ĉi tiu atomosfera incito.*

## 6. HAKODATE (de s-ro Joŝida)

ハコダテの 에스活動の現状をお話し致します。

我々の市はムロラン、トマコマイ、ユニ、等に比して特に Vigle ではありません。

我々の市の *Samideanoj* を紹介致しますと次の様です。イノウエタツヨリ、ヒサシ、オダジマサカエ、ノトヨシオ、モリヤケイジ、カワムラユキトシ 達です。で横の二人は新しい *samideanoj* です。彼等は昨年来習い始めたばかりですがとてもよい *Esperantistoj* になりました。どうぞ皆様の御指導をお願い致します。

## 7. HOKUDAI (de s-ro Niŝisato)

Karaj geĉeestantoj

Nun mi havas honoron raporti la agadon de Hokudai Esperanto-Societo, tamen mi tre tre bedaŭras vin raporti, ke nia klubo tute endormiĝinte de la lasta aŭtuno faris neniam rimarkindan agadon.

La lastan duonjaron ĝistiu ĉi aprilo ni tute ne povis agadis ĉar de diversaj aferoj kiel ĉiu jare.

En aprilo laŭ kutimo ni devis rebaloti, reelekti komitatanojn kaj mi ankaŭ ĝin volis, ĉar ambaŭ Macuda kaj Niŝisato jam estas en la lasta grado de universitato kaj tre okupitaj, sed bedaŭrinde ni ne povis, ankoraŭ ne povas ĝin fari ĉar tiu ĉi jare mankas sekvantoj. nenij sekvantoj nun estas en nia klubo. Do la du malmovaj komitatanoj ankaŭ tiu ĉi jare tenos la rolon de klubestro duonjare laŭvice.

En majo, kun granda espero mi varbis kursanojn kaj komencis elementan kurson, tamen tre bedaŭrinde kursanoj estis nur tri. Kiel lastjare, Macuda kaj Niŝisato gridante la kurson ĝin finis en la fino de Junio.

En majo kaj aŭgusto dufoje ni Hokudaianoj kom-

pilinte, eldonis la "Antaŭen", organon de Japana Esperanto-Ligo de Studentoj.

Kion mi nun parolis estas la tuta raporto de mia kluba agado. Krom tio en julio mi mem gvidante s-ron Simpkins el Anglujo kaj s-ron Fujimoto, montris la kampon kaj konstruaĵojn de Hokkaido Universitato. Post kelkaj tagoj mi veturis al Tokio kaj en la okazo dufoje kunsidis Mercredan Kunsidon ĉe JEI, kaj ĝuis gajan tempon kun gesamideanoj. Tiam tute neatendite mi refoje renkontis s-ron Simpkins.

Dum la restado, unu vesperon mi kun amikoj vizitis D-ron Ossaka ĉe lia domo kaj estis tre varme akceptita de D-ro kaj s-ino Ossaka.

Nun mi jam parolis, kion mi volis raporti Dankon!

(北大エスペラント研究会 西里)

## 8. SAPPORO (de s-ro Arima)

Bonvenon, gesamideanoj!

Mi elkore gratulas pro la 22a Hokkajdo Esperanta Kongreso.

Mi estas ARIMA-Yoshiharu, ano de Sapporo Esperanta Societo.

De nun mi raportas al vi ĉiuj pri la aferoj en mia societo. Sed mi ne havas la notindajn aferojn dum la ĉi-jaro.

### Unue

Mi raportas pri la Jaŭda Kunsido.

En la ĉiujauĉdo je la 18a mi havas la kunsidon en la domo de s-ro TAKAHASI-Yooiti en Toyohira.

Nunaj ĉeestantoj estas 5 finoj kaj 6 s-roj. Kaj mi faras en la kunsido la lernadon de legado de mia lingvo.

Sed de antaŭ du-tri monatoj ni ekskluzive havis la preparan lecionon de la kapableca ekzameno.

### Due

Mi raportas ke ni havis la elementan kurseton de Esperanto, de la 18-a de junio ĝis la 18-a de julio, lunde, merkrede, vendrede en ĝiusemajno, sume 14 tagojn.

Ni uzis la konferencejon en mia laborejo, Hokkajdo Disvolviĝa Burŝo kiel la kursejo. Kaj la gvidantoj estis s-ro TAKAHASI kaj mi.

Eni la kurso ni havis 10 gekursanajn t. e. 3 frat-linoj kaj 7 sinjoroj.

Sed la unuaj ĝerestantoj estas 3 f-inoj kaj unu s-ro.

### Trie

Mi raportas, ke ni bonvenigis 2 samideanojn, s-ron Simpkins el Anglujo kaj s-ron Hugiimoto el Kioto, en la 28-a de Junio.

Ili vizitis nian kurseton kaj la ĝaidan kunsidon, kaj ni okazigis por ili la bonvenigan kunsidon en la 30-a de junio vespere, en Humade Koitani. De la komenco ĝis la fino ili parolis kun ni nur esperante.

Ĉar s-ro Simpkins elparolis en angla maniero, mi malfacile komprenis lin. Sed ni grande ĝojegis, ke ni povis lerni konversacion kun fremdlandano.

Mi ripetas tiun ĝi raporton en japana lingvo.

メダイマノ 幸未報告ヲニッポン語ヲ綴リ返エサセテイタダキマス。

同志ノ皆サン ヨーコソ オイデ 下サイマシタ!

ワタシワ 心カラ コノ 第22回北海道エスペラント大会ニ 祝詞ヲ 述ベサセテ 頂キマス。

ワタシワ サツボロ エスペラント会会員ノアリマヨシハル デゴザ

イマス。

タダイマ カラ サッポロエス会ノ筆筆ニツイテ 皆サマニ報告ヲイタシマス。シカシ ワタン共ワ コノ年間ニ コレト高ウ事ヲ シテオリマセン。

### マズ 初 X ニ

木旺会ニツイテ 報告 イタシマス

毎水曜日 18 時カラ トヨヒラ ノ タカハシヨ-イチ氏宅デ コノ集リヲ開イテオリマス。現在ノ出席者 約 4-ino 5 S-ro 6 デス。ソシテ コノ集リデワ エスペラントノ読ミ方、訳シ方、作文、会話ノ勉強ヲシテオリマス。シカシ、2-3カ月前カラ 専ラ 検定試験ノ予習ヲ シテ 来マシタ。

### 次 ニ

6月18日カラ 7月18日マデ 毎週月水金 計14日間 エスペラントノ 初級講習会ヲ開イタコトヲ 報告 シマス。講習会場トシテワ ワタンノ取場デアル 北海道開拓局ノ会館室ヲ使イマシタ。

ソシテ講師ワ 高橋氏ト ワタンデシタ

講習会ニワ 婦人3名 男7名ノ 10名ノ受講生ガアリマシタ。ガ現在ノ残存者ワ3人ノ 4-ino ト S-ro 1人 デス。

### ソノ次ニ

6月28日ニ イギリスノ シンアキンス氏ト キョ-トノ フジモト氏 オフタリノ 同志ヲ オムカエシタ コトニツイテ 報告イタシマス。

彼等ワ 講習会ヤ 木旺会ヲ 訪ネテ クレマシタシ。ワタン共ワ 彼等ノタメニ 6月30日ノ夜 歓迎会 ヲ開催シマシタ。

最初カラ 終リマデ 彼等ワ ワタンタチト エスペラントダケデ 話シマシタ。

シンアキンス氏ワ 英語流ニ発音シマシタノデ、ワタンニワ ワカリニクイ デシタ

シカシ 外人トノ 会話を勉強出来タ コトワ ワレワレニ 大キナヨロコビデシタ。

Do mi finas mian raporton.

## 9. GAKUDA I (Sapporo) (de S-ro Jamazaki)

私は学大札幌分校に勤めている山崎です。今私達の学校の活動について小々のべさして載せます。

学生に Esperanto についての知識をもっている者が大へん少い林に思いましたのでまず Esperanto に関する資料の展示会を開いたり講演会を催したりして propagando をした後 Esperanto を学んだ者に外国語としての単位をやると言う事で学生を募集した折 20 名ばかりの受講生を得る事が出来た。

## ★Diskutoj pri la proponoj \_\_\_\_\_ 16.00

(敬称略)

### La unua propono (de S-ro Niŝisato)

各学校に於て Esperanto を正課として入れる事及び Esperanto の教員免許状を出すように道教委に折衝することについて

Niŝisato — 大学の外国語の中の一つとして Esperanto を正課に入れる事については先日山崎先生も学大札幌分校の例を以て尋ねられたが、ぜかこれは実行にうつしたい問題だと思ひます。

学大のことでかなり明るい希望をもつたのでありますが、現状のままではまだまだ学校側の関心が薄く、どうしても外部からの働きかけがその実現には必要であると思ふのです。一番可能性のあるのは、大学の臨時講義或いは特別講義という形でエスペラントを講義に入れることで、エスペラントは教養科目或いは語学の選択科目として単位を与えるのに充分の好感をそなえていると思ひます。

この線にぞつて問題を進めていただきたくここに提案致します。

もう一つ、これは先日、小坂先生及び三宅先生に伺つたのですが、文部省からエスペラントの教員免許状が出るか否かは地方の教委がエスペラントを外国語或はそれに準ずると認めめるか否かによるとのことです。今後学校教育にエスペラントがとり入れられるようになると、免許状がやはり必要になるのではないかと思ひます。このことで、道

教委に免許状を出すよう折衝していただきたく、ここに二番目の問題を提出します。

Arima — その方は北海道連盟としてか、それとど各個人で各々働きかけると言う事なんでしょうか。

Prezident — S-ro NiSisato その点について説明して下さい。

NiSisato — 個人として働きかけるのはあまりにも小さな力となつてしまい働きかけてもしなくても同じ結果になるんじゃないかと思ひます。例へば私達が学校へその話をもちかけてと事務の窓口でかるくかたづけられてしまう。これは連盟として学校及び教育委員会にあたつてとらいたい。

Nitta — その通りです。若い人連よりも年を取つた人連の方が顔も太いし又押しとさくと思ふのですが。(笑)

Ukon — この問題はただ今この席上で決議してその決議文を学校なり道教育なりに提出するのがいいんじゃないか。賛成者と多数の林にお見受け致しましたので。

Prezidento — では、この提案に対する賛否をおうかがひしたいと思ひます。……拍手多数でこれを決議致します。

Arima — 毎年決議はするが、それで終つてしまうことがほとんどの林です。これでは意味がありませんので委員会を作るか、或る個人にこの仕事をまかせるか、いずれかにしたらいかがですか。

TakahaSi — 北海道連盟で委員を送定してこれにあたるのがいい方法と思ひますがいかがでしょうか。

Arima — 各個人はそれぞれ仕事を持つてるので委員に選ばれても充分に活動は出来ないと思ひます。これを少しでも個人の負担を減らす意味に於てと学校のある所に委員を俵り、その委員が出かけて行く林にしたらどうでしょうか。

SakaSiita — これは単に学校へ働きかけてと学校単位としては行ふ事が出来ないのではないが、これは道の教育長に働きかけるべきではないだろうか。

Ukon — 立案の方法をど細部にわたる問題は北海道連盟にまかせて、この実行及び方法は連盟が行うのが最もよい方法だと思ひますがいかがでしょうか。

TakahaSi — 北海道連盟の委員が集るのはむづかしいから大書会業で方針を決定しよう。



Aizaiū — この問題は学校だけで決るか、又は道教委が決めるものか全く解らないからジュンジョとして道教委にゆきかけるべきではないか。又この事は北海道エスペラント連盟にまかせていただいて御分此された事はそこで決めよう。

Nis̄isato — 免許状に関しては道教委に、講義上はとりいれるか否かは学校別に交渉して行くべきであると思ひます。

Hoŝida — 前着の事は此の場で決議しよう。

Nakahara (el Kioto) — 皆さんの御参考までに申し上げますが、これまで中学校の教員で Esperanto の免許状をもっている人がただ一人ではあるが居ります。そしてこれは両方文部省が免許状を出したという事実は Esperanto をすでに外国語と認めたと云う事で外国語として取り上げるかどうかと云う事は事実を認める事で問題にはならないと云う事です。又何でと云うからこの事実を一つ一つ作つて行く事が我々の使命ではないか？

Prezidanto — 此の提案に対して再度賛成を求め決議したいと思ひます。(全員拍手) 賛成多数と認めます。そして此の提案を決議致します。北海道 Esperanto 連盟で委員になられた方々はよろしくこの問題を実行し実現する事をお願い致します。

## La dua propono (de S-ro Arima)

### 来年度の大会の場所について

△ロラン、岩見沢、江別、ヒラトリ、札幌、小樽等が出たが結局次の林に成つた。

Nitta — 来年は Zamenhof 博士の生誕100年祭であるし、札幌以外の土地で行く事は汽車の便等を考へてもどうしても人数がへる林に思ひます。誠に Preparaj komitatoj は気の毒であるが特別として来年も札幌にしてはもらえないだろうが。

Sakaŝita — 今の新田さんの御意見の林に場所がら札幌の方がよいと云うのであればお引受します。

Prezidanto — 札幌と云う声が多い林です。では札幌と云う事でどうでしょうか。(拍手) では来年度の大会は再度札幌に決定しました。

Sakaŝita — 期日の点につきましては後ほど相談の上 Leontodo にで

ものせます。

## La tria propono (de F-ino Kamo)

Hoŝida — これはカモさんの propono ですが 皆さんに聞こえる林に私から話してくれと云われましたのでお話し致します。此の会場に着いた人が多い林ですが実際の会の活動、又将来は若い我々が先に立つてやらなければならないと思います。であるから晩餐会の時でも juna Kunsido を聞いてはいかがでしょうか。(拍手)

Prezidanto — 賛成多数の林です。では後ほど Juna Kunsido を開くことにします。

Sakaŝita — 若いというのは何才からですか？(笑声) 私はだめですか？

Kamo — 精神年齢が若ければよろしいと思います。若いと思つてゐる方はどなたでとどうぞ。

## ★Sinprezento ————— 16.40

時間がないため土地と名前のみ

## ★Saluto de s-ro Nakahara el Kioto ———— 16.50

特別に京都から来られた中原氏の面白い話を皆さんと聞く事に致しました。このお話の要約は別頁にのせる事に致します。

## ★Fotografo de rememoro ————— 17.15

仕事の都合上おそく成る人達が居りましたので amuzajo の後でと云う事になったのですが、空モヨウが悪くなったので再度、予定通りに変こうした。

## ★Aŭdadi bendan rekordon ————— 17.30

Saluto de Edomondo Privat  
Saluto de Lapenna

★Am

①

②

③

★Ves

## Parolado de Malmgren

これらは OTARUanoj の好意によって借りたものです。

### ★ Amuzaĵo \_\_\_\_\_ 17.55

① "Marionetludo" el MURORANanoj

② Gitaro Solo de S-ro Niŝisato

- La Farruca
- Asturias (Legenda)
- Danza Española

③ Ĥoro de Sapporoanoj

Murorananoj の人形劇は本場の人形半端端に勝るとも劣らない名演技で大抵を抜く所などは賞讃的であつた。又西里氏の gitaro solo はこれまた立派であつたが惜むらくは尙の騒音によつてよく皆に聞えずかつたのが残念であつた。又 Sapporoanoj の Ĥoro は立派ではあつたが観聴兼者には少なからず御メイワクをかけたがもしれないのが心にかかつて居た様です。

### ★ Vesper manĝo \_\_\_\_\_ 18.00

Kun junula kunsido

前記の決定に基づいて junula kunsido が Vesper manĝo と同時に開かれた junulo は一方に集るはずであつたが maljunulo は一人も居らず (勿論戸籍上の年齢に非ず) 全員参加した。産業会館が市の中心部に立っているので騒音がはげしく Fino Kamo の声は全員には聞えず EVA の働き会費である OTARU の S-ro Hajakaŭa によつて EVA の内容の説明があつた。EVA とは Esperanta Virina Asocio の略で意とするところは 平和な町を女の手で創り上げよう。女性解放を行い女性の地位を高めよう。世界に女性の手で本当の日本を知らせよう。等のスローガンのもとに出来上つた Esperantisto の婦人グループです。毎月 "Ĉerizo" と云う gazeto を発行して居ります。会とは月25円

であつて Viro と物力会員となる事が出来、現在北海道に会員は3名の  
みであるが将来はとつと多い会員で盛んな活動をする予定である事、幸  
業としては日本の文献を皆で少しずつ訳して一つに集めて外国に紹介す  
る事であつたが *Junula Kunsido* では何等の決定も見なかつた。

★Filmprezentado..... 19.30 ~ 20.30

- ① NOVZILANDO
- ② PILOTA TERKULTURIST
- ③ VOJO AL KAMUIUSIPE

★Saluto de fermo..... 20.35  
de S-ro Takahaŝi

★Ĥoro de Tagiĝo..... 20.45

## La dua tago

Demanĉe, la 10-an de Aŭgusto  
Rigardo de Hokkajda Granda Foiro

10日(日曜日)9時(a.m.)迄に札幌産業会館前に集合、9時30分  
大通り発市営バスで乗客会場へ向つた京都の S-ro 中原を含めた 13名と前  
日よりは人数は少数であつたが天気は前日にも増してよく、すばらしい風景  
日和であつたが日曜日の事とて会場は超満員で一時高ぐらいするとほとん  
どばらばらになつてしまひ最後まで全員集る事は出来なかつたのが残念であつ  
た。

Fino 大会書記 後藤・西里 記

# 京都市の中原さんのお話

— 北海道工ス大会の席上で —

北海道工スベラント大会にお集りに成つた皆さま、私は京都から此の大会に出席しようとおこがれてからもう七年もたつのです所が私は食乏な仕事をして居りますので金と雨が無く金が出来ると雨がないうちが出来ると金が無いと云う具合で、どうしても北海道へ来る事が出来ませなんだが、今度は金も出来たし雨も出来たし、それで北海道へぜひ行って見度いと云う気持ちがありましたので早速飛んでまいつたのであります。北海道は皆さんのいつも楽しく暮されて居る所だと聞きまして私も相当なおこがれをもつて来たのでありますそして旅館に泊まして早速、札幌近とんで来るつもりで急行列車に乗りました。で乗りました所が空雨と云う停車場に着きまして空雨と云う声を聞きましたら、ホツと降りてしまつたのです急行券は札幌まで買つてありましたが、それで一体どうゆう計画があるか？ 計画は全々無いのであります。計画はどこでこしらえるかと云うと、着いた所が計画地でありまして、そこから色々計画を持ちましてそして旅行しようと思つたのであります。私の旅行の方針はいつもどうゆう事でもう随分古い事で柳屋居ますけれども工スベラントが生れて五〇周年に成りました時一九三一年、今から二十七年くらい前で御座居ますが丁度その時工スベラントの五〇周年記念がポーツントのバルソビーロで行われますので比ればいゝ記念だと思ひましてバルソビーロの大会をめざして行つたのであります。丁度その時リヨコーキユー事件が始まりました私の出る時にはリヨコーキユーで事件が始つたのは七月七日にして私は十二日に神戸を起したのですが、その時までには、私の様な食乏人がどうしてヨーロッパあたりに行けたかと申しますと色々皆さまに御参考になると申しますから一寸申し上げて見度いと思ひますが工スベラントを長くやつて居りましたけれども商人でございましてから雨はなしして又金もないどうゆう小さな商人にはどうていヨーロッパなどに行くにはユメで御座居ますけれどもユメを実現するのが人間の本能でありましてどうして此のユメを実現したかと云いますと、それには秘訣がありますからこれを申し上げて見度いと思ひます。

それはどうゆう秘訣かと申しますと“止むに止まれず行かぬはならん”とゆう機会を作る事だと思ふんです。そして始に私は家内を納得させな

ければなりません。と云うのは金をイヤジが使うと家内が後から困ります。これとも納得させなければならぬが、これが一番難問でありませぬ。それで家内にはだまって居ります。最後迄だまって居ります。そして私は大学に出入して居りましたから大学の教授連に私はこれからヨーロッパへ行つて日本の文化を紹介する義務があると云う事は私は良心的な出版業者である。こうゆうふり出しで大学の教授連に幣にさうゆう瓜な具合に去つて居うたのであります。所がカニヤの尾鹿野郎がつまらん事を去つて居ると云つて皆んな振向もしませんでした。

しかし私は心に決めたものがありますからそれがどんな瓜に考えられてもくり返しくり返し行くに去つて居ります。そうすると近頃は時期を決めなければなりません。時期を決めると云う事はもうノビキならんと云う事ですからそれで何月何日には私はヨーロッパへ行きませんと云う事を発表しました。そうすると始め発表する時には自分でどう出来るか出来ないか解らない事を発表するのでからずいぶん冒険が御座居ます。金も中々。相当ありませんと行けませんし、自分が出て行つた後家の方はどうなるか？等と考へますと中々腹もさまりませぬが、さうゆう風にして周囲に私がどんどん宣伝をして居りますと口を閉けはヨーロッパへ行くと云つて居るからあいつはヨーロッパ<sup>の</sup>友達だ」と云う事になつたわけです。そうしますとやゝ一年程前から日日を切つて申したものですから、我々日日がせまつてまいりますとどうしても居ても立つても居られないと云う事になつてしまつて、お前またぐすくすして居るのかと云う話になつたんです。そうではないもうちやんと期限を切つてありますからもうちやんと行くんだと云う話をしてそれからそうすると皆んな行くか行かんか解らんけれども行くかも行くかも解らんし、行かんかも解らんと云う事になりますと周囲の空気がひよつとするとあいつが行くかも解らんそと云う空気が生れて来る事になります。そこで自分が金がケし足りなかつたものですから親類で金を少し借してくれと云つて金を借りなければならぬ。金を借りるにも苦心がいろいろありますがどうも仕方が無いから貸してもらわんさや困るんだと云う所まで行つて金も少し借りしてさうすると家内はよぞからのニュースを聞きまして本当か嘘か解りませんが怒つて居りますけれどいさとなりますとパスポートも貰わなければならぬそれで、とゞけを出した。貰う運動もしなければならぬと云う事であらちよ奔走して大使館やその方面へ行くわけです行つて居りますと家内もそろそろ決心をしてそれじゃ仕方がない

から機を引受けるからどうぞ行つてらっしゃいと云う風になる解です。

又等杖から金を貰つて命令で行く人は又山居りました。そう云う人は行つて居りましたけれど私共の様に銭は厭し閑はなしと云う様な者は仲々出来ませんが地盤を長年にわたつて保つて居きますと云うと、もうとにかく自分で行かなくても放り出されると云う気持ちに宣い込まれて来次第に、スパッと立って行くと云うやり方で今から二十一年程前ですがとにかくヨーロッパへ行つて見たのです。行つて見るとヨーロッパとは比喩なものか、思つたよりつまらんと云う感情がおこつたのは叔父の耳に入るのはヨーロッパのいゝ所ばかり入つて未だすね、それで行つてみるという所もありますが悪い所もかなり多く見られます。

例へば道徳的な問題と云われて居ります汽車に乗る場合押すな押すなと云うやつは日本人特有なもんだと考えられて居つたのですが、しかしドイツへ行つて見てドイツではどうかと云うと或程一・二等の者はちゃんとして居りますかと云う事はゴチャゴチャ押しつけなくてもそこへ入れるからうまく行つて居るわけですが、所が三等車になるとそうは行きません。ここに何婦人が特にアツマライ、私共でも乗ろうと思つてヒヨット乗ろうとするとおむねのボン（ヒジ鉄のまねをして）とやりましてそしてよろよろとして居る間にスーツと入つて行く、これはもう国際的な儀礼かも知れませんが、そういう風になつて居ります。でいづれの奥に於きましても日本人はそう大してヒゲすべき者では無いと云う事を感じた解です。

エスペランティストはどこへ行つても云うに云われぬ心の狭みがあり同じ気持ちの持つて居る者が集つて居るらしいんです。どこへ行つても不当に十年も二十年も昔から付合つて居る友人の様に思へる。当方がどう思つと向うもそう感じるらしい。これはまあ心理学の教養が私に教えてくれたので本当かも知れません。こちらが思つて居る事が互らに通じると云う事だ、そうです。でそれは學問的には私は解りませんが全世界のエスペランティストかくもエスペラントを広めて行くと云う運動に参加して居る人は随分、皆んないゝ人であると思はれるわけです。

今日私がここにおうかがい致しまして非常に位の高いお方もいらっしゃいます。又あまり位の低い人も居られますけれどもそう云う人々の間にちつとも分け匠てが短く、今さつき青年とか青年で無いとか云つて居られましたけれども、もう青年で有ろうが氣がらうが、早なんか超越してお互に手をつなぎ合つて行く事が出来るのがエスペランティストの特長

だと思ひます。そうですから人間の年令について私は一つの定義を持つて居ります人間と云う物は生命が各個に於て違ふけれども生れてから死ぬと云う事だけははっきりして居て、百歳三百年も四百年も生きて居る人は有りませんから、その内皆死んで行く。比喩においてに成られる方々が六十八人はと有りますが、永年私共が大会を開けますれば比の内で何人死ぬか？又は死なないかも解らないと思ひます。死に就つての早晩を神が人に与えたと云う事は絶対に解りませんから、私は現に六十五才の令<sup>せい</sup>を持つて居ります。先程山崎さんが他はお前の家にお供の頂行つて居つたんだぞと云うお話を御座居ましたけれど私は山崎さんの顔は忘れては居たけれどそれは間違の無い事だと思ひます。そして先程のお話の様に他は六十五才になつたと、私も同じ様に今年六十五才になりました。それで今はエスマラソの運動では非常に残念ながらオニ陣にかまえて居ります。

オニ陣は青年に、オニ陣は老年にと、こうゆう風に京都では成つて居ります。と申しますのは老人がいつまでも出しゃ張つて運動をして居りますと青年が運動をしようとゆう勇氣が落ちてまいります。でなんでもかんでも年寄りに頼まなければ、又年寄りの助けをうかざなければ運動が出来ない。即ち動きにくくなるので丁から運動の方針は今後年寄りはオニ陣に引いて、オニ陣の青年がやれやすい様に助ける方向に向つて置き度い。

例へば金の無い時は學生が金を取せなくてももう相当の地位について居る年寄りがやるか又は会場の何をするとか年寄りに成りますと頼が大分きいて来る様に成ります。その頼を利用して今の免許の運動でもその頼を一つと並べてぐつと押し込んで行くと比較的スルスルと物事が解決すると思ひます。ですからエスマラソチストは一致団結して何んでもかんでもそうゆう風にしてやるとかかなり立派な仕事が出来たらうと思ひます。それとエスマラソチストで今足りぬと思ふ事はエスマラソチストの政治力の応用だと思ひます。エスマラソチストが原水爆反対の運動を決心して居る人も居りますけれどもそれらの人々は本当に背に付いた運動をして居ると云うのは、名聞の人々との間にお互に心から了解をし合つて通信をし合う。そしてその全世界の人々が原水爆反対をやるやうな事が、これに対しては非常に努力をして居る解です。で先程お話を居られたエスマラソチストのいわゆる *Modesta estas Nias Kurvenas*、即ち謙遜の美德をあまり發揮しすぎてそして政治的にどんどん活動する事が落ちて居ると思ひます。それは何と申しましようか人類の爲に何れかの仕事と云う物は全く要する仕事で御座居ますから、聖なる仕事で有るならば、国家又



は都市や団体からの公的な援助資金が望々と貰つて差しつかえ無いと思  
います。少くとも日本に於けるエスペラント運動に対して一億円の予算  
を国家が保障して毎年一億円の金はエスペラント運動にやるからそれで  
充分活動しろと云つて予算を組むと致しますと幸務局が方々に出来て北  
海道には二十人の幸務員を置け京都には何人の幸務員を置き事務所はど  
こそこに建てゝやると云う事に成りますと、そこで働いている人は何を  
するかと云うと朝から晩までエスペラントの仕事が出来ぬ解です。そし  
てこれだけの大きな金で日本のエスペランティストが全世界に向けて平和  
運動をしますと、もう平和は日本からと云うスローガンをかけて全世  
界の平和は保たれる様になるだろうと思ひます。これが私のユメであり  
ますでそうゆうのを我々はこれから獲つて行つて自分の食ひポケット  
から手紙の料金を出してやる様では仲々運動は盛んに成りませんから、  
そんな意味に於ても政府や各都道府県の行らもどんどん取つて、そして  
活動すれば二三年の間に随分大きな活動が出来ぬ解です。これはユメで  
ありますけれども先程私が申しました様に、皆様がこゝまで、こんな大  
ホラを吹けばユメはやがて現実になるのであります。

つまりない事を申しましたけれども、とにかく私の四十五六年のエス  
ペラント生活で色々感じた事は私共の様な、そうでなくても工場で働い  
て居る人々の様な肉も無く金もないと云う人が困難的に活躍出来る人は  
本当にエスペランティストのみだろつと思ひます。皆さん希望を持つて頂  
いて互を国内の京都、札幌、京都、釜山と云う風な場合でも常に交流す  
る事が大切だと思ひます。もし皆様のうちで京都におこしに成る時は中継  
入手紙を書いて置くと何うで安心して娘一人でも旅行させる事が出来る  
と云う具合に国内に於てでも、交流を盛んに致しますればエスペラント  
の国がより住みよい国に成ると思ひます。つまり事を申しましたが、  
こんな希望を持つて居ります。それからもう一つ忘れない内に皆さんにお  
うかゞいししたいと思います。今から十二三年前で丁がちょうどオニ  
次大蔵が暗殺をうけまして、もう全く人々は熱獄のどん底に落ち込んで  
食料は無い交通は不便だと云う時に、私の店に一人の青年が来てどこか  
有名な神社がお寺の壁にはつてあるものか、又は書紙が解りませんが  
縁が十枚ばかり画いてある。その筆跡は京都の画家なんかに見せたら  
非特に立派なものだと推奨されるものですが、それをぐるぐる巻んで私  
の所に持つて来られて、これは何処かの有名な特化けれど誰か書いたか  
解らないが一つ京都で売れかゝつてくれんかと云う解です。で紙を一

つこしらえ良いと云うので持って来られたお方があるわけです。私は現在でもそれをどうしてお返ししようかと思つて居りますが受取つた名前も忘れて誰が持って来たか解らないと云う様なものが一室ありまして、私の陣営の中に完全に保管して御座居ますから、どなたがお氣荷が御座居ましたら、私に去つて頂きましたら早速小包でお送りますからこれは別の話ですけれどもお願ひして失礼さして頂き度いと思ひます。

どうも有難う御座居ました。

## Zamenhofa Festo

札幌

12月14日(日) 12時から17時すぎまで、坂下清一宅でひらいた。参加者 S-1ro 山崎教授はじめ8名、f-inoj 5名計13名。La Espero の合唱で開会し、自己紹介のあと、記念写真をうつし、当日は急用のため欠席された S-1ro 吉原正八郎から贈られた Zamenhofa Festo の ESP 文入り大型 Dekoracia Kuko にますナイフを入れ、祝詞と感謝をもつておいしく頂いた。

14時ころ、小樽の D-1ro 山岡宅で同値中の小樽エス協会のサメンホフ祭会場から電話を通じて S-1roj 山岡、高橋、江口の gratulaj Vortoj や会の様子がおくられてきた。札幌からは S-1roj 坂下、アリマ、高橋がそれぞれよろこびをのべ、会の様子をつたえた。

引きつづき、おしるこ、おいなり、ミカン、リンゴなどをたべながら、本年の北海道エス大会の準備、Ĵarnda Kunsido の運営法その他 Dirersoj ESP. temoj について話し合い、あたりの暗くなるまで楽しい時間をすごし、最後に La Tagiĝo を合唱して閉会し、各々帰途についた。

(アリマ)

小樽

小樽エスマラント協会では例年の様に花園町 D-1ro 山岡方で 12月14日 15時より Zamenhofa festo を行った。参加者は学生4人と ges-roj Takahashi o du filinetoj (Lumi Kaj Ami) を交えて14人であった。

# 大会々計報告

## 収入の部

|             |   |       |
|-------------|---|-------|
| 出席参加費       | $200 \times 47 =$   | 9,400 |
| 欠席参加費       | $150 \times 15 =$   | 2,250 |
| 観戦会費        | $150 \times 45 =$   | 6,750 |
| 検定試験料       | $200 \times 9 =$  | 1,800 |
| 博覧会々券       | $\left. \begin{array}{l} 150 \times 2 \\ 130 \times 9 \end{array} \right\} =$ | 1,470 |
| 寄附金 (下記の通り) |   | 1,400 |
| 繰越金         |   | 797   |

## 支出の部

|               |                 |       |
|---------------|-----------------|-------|
| 会場費 (産業会館使用料) |                 | 2,400 |
| 観戦会々券         | $150 \times 45$ | 6,750 |
| 菓子代           | $30 \times 45$  | 1,350 |
| お茶            | ジ-ヒー            | 2,800 |
| 博覧会々券         |                 | 1,470 |
| 検定試験料         |                 | 1,800 |
| 通信費           |                 | 1,877 |
| 写真代           |                 | 1,625 |
| 雑費            | フィルム 安全ピン 封紙 印紙 | 1,473 |
| 報告書代          | (Leontodo 分組)   | 2,000 |

計 23,867

計 23,505

差引残額 (米年度に繰越) 362

欠席参加申込者で会場不到者 300円は収入より繰越金に計算します

### 寄附金内訳

|        |     |
|--------|-----|
| 小樽工友協会 | 500 |
| 函館吉田氏  | 500 |
| 小樽山賀氏  | 200 |
| 上厚真菅原氏 | 200 |

1,400

## 第22回北海道エスプラント大会参加者名簿

○印は不在参加

|   |         |     |      |         |      |
|---|---------|-----|------|---------|------|
| 1 | 平坂 基    | 小樽市 | 10   | 曲 里 静 彦 | 札幌市  |
| 2 | 江口 幸 吉  | 〃   | 11   | 相 沢 治 雄 | 〃    |
| 3 | 早川 昇    | 〃   | 12   | 河 野 本 道 | 〃    |
| 4 | アリマヨシハル | 札幌市 | 13   | 星 田 海   | 苫小牧市 |
| 5 | 阪下 清 一  | 〃   | 14   | 竹 内 五 男 | 小樽市  |
| 6 | 山崎 久 蔵  | 〃   | 15   | 吉 田 栄   | 函館市  |
| 7 | 三 宅 公 子 | 〃   | ○ 16 | 児 玉 本 夫 | 東京都  |
| 8 | 増 田 素 子 | 〃   | ○ 17 | 桐 生 育 保 | 札幌市  |
| 9 | イトー セイチ | 北見市 | 18   | 磯 藤 義 治 | 〃    |

- 19 ナカヲ アキコ 平取町
- 20 山 賀 勇 小樽市
- 21 ト 夕 ユキコ 平取町
- 22 高 橋 妻 一 札幌市
- 23 井 上 一 函館市
- 24 芥 藤 圭 司 厚田村
- 25 田 辺 至 函館市
- 26 綾 町 若 二 札幌市
- 27 大 川 健 治 小樽市
- 28 平 田 岩 雄 釧路市
- 29 山 本 吧 二郎 小樽市
- 30 山 木 夕工コ 札幌市
- 31 岩 摩 憲 三 。
- 32 酒 野 惠 子 。
- 33 力 毛 ヒツコ 室蘭市
- 34 佐 木 実 。
- 35 鈴 木 正 治 。
- 36 佐 野 澄 子 。
- 37 佐 藤 真由美 。
- 38 西 忠 雄 札幌市
- 39 松 田 勇 三 。
- 40 佐 藤 由起子 。
- 41 橋 近 左次郎 。
- 42 池 和 美 。
- 43 松 尾 文 夫 江別市
- 44 八 木 隆 二 。
- 45 石 崎 幸 夫 。
- 46 新 田 勇 男 由仁町
- 47 菅 原 鉄 男 厚田村
- 48 内 海 和 彦 札幌市
- 49 泉 谷 昭 典 由仁町
- 50 外 山 龍 子 由仁町
- 51 畑 山 紀 小樽市
- 52 吉 原 正 八郎 札幌市
- 53 和 田 達 子 。

- 54 高 橋 重 治 小樽市
- 55 小田 島 栄 子 函館市
- 56 福 島 昭 子 札幌市
- 57 橋 内 和 男 。
- 58 木 村 喜 任 岩 。
- 59 谷 川 揚 子 苫小牧市
- 60 前 田 幸 一 小樽市
- 61 中 原 倚 司 東京都府
- 62 仁 保 武 親 札幌市
- 63 加 賀 亮 子 苫小牧市
- 64 青 藤 逸 代 三 札幌市

参加者都市別一覽

| 都市名  | 参加 | 不参加 | 計  |
|------|----|-----|----|
| 札幌市  | 21 | 7   | 28 |
| 小樽市  | 7  | 3   | 10 |
| 室蘭市  | 5  | 1   | 6  |
| 江別市  | 3  | 0   | 3  |
| 苫小牧市 | 3  | 0   | 3  |
| 函館市  | 1  | 2   | 3  |
| 由仁町  | 2  | 1   | 3  |
| 平取町  | 2  | 0   | 2  |
| 北見市  | 1  | 0   | 1  |
| 厚田村  | 1  | 0   | 1  |
| 東京都府 | 1  | 0   | 1  |
| 東京都  | 0  | 1   | 1  |
| 函館市  | 0  | 1   | 1  |
| 上厚真村 | 0  | 1   | 1  |
| 計    | 47 | 17  | 64 |

# 「エスペラント普通科検定試験」 向題集

## エス文和訳

中国の Esp. 運動が再び盛になり出しました。次の文はその報道の一部分です。一つ皆さんもこれに負けないようにやして下さい。では全文を読んでみて線の引いてある所だけ訳して下さい。(以下これに準ず)

<sup>(1)</sup> Kelkaj komencantoj, kiuj eklermis en printempo 1957, jam korespondis en oktobro km 66 esperantistoj en 12 landoj.

Unu el ili diris: "Laŭ vortoj de Lenin, scio de unu plia fremda lingvo egalas al unu plia fenestro por la domo. Sed <sup>(2)</sup> lerniminte Esperanton, mi sentas, kvazaŭ, malfermiĝus fenestroj en ĉiuj flankoj de la domo."

エスペラントと平和向題は切っても切れないつながりがあります。アインシュタインのことばからつぎの題を。

<sup>(3)</sup> La plej multaj el ni ne estas neŭtralaj en siaj sentoj, sed kiel homaj estaĵoj ni devas ĉiam pripensi ke, se la disputaj demandoj inter Oriento kaj Okcidento devas esti solvataj, <sup>(4)</sup> ili nepre ne estu solvataj per milito.

Privatは何人といつても名文家です。UEAの基礎をささぐいた Hodler のことについて最近次のように書いています。

Mi konis Hodler jam de frua knabeco, ĉar ni kune sidis en la sama gimnazia klaso kvankam li estis du jarojn pli aĝa. Tiun altan, malgrasan knabon, fieran kaj silenteman, mi ĉiam admiris ĉar li ŝajne legis ĉion, sciis ĉion kaj komprenis ĉion. Aparte kaj sendepende ni estis lernintaj Esperanton el trovitaj broŝuroj kaj kiam ni surprize malkovris la fakton, ni fariĝis amikoj medivideblaj.

### 和文工入試問題

1. あなたは きょうだいが なん人ありますか？
2. わたしは かれが正しいと思いました。
3. この夏はどちらへ御旅行ですか。
4. 自分のことは自分でしなさい。

# HEL 會員名簿

昭33-11月現在

|     |     |                   |
|-----|-----|-------------------|
| 吉田  | 栄   | 函館市船渠町 43         |
| 小田島 | 栄   | 函館市外上磯町久根別 7      |
| 井上  | 一   | 函館市杉並区 40         |
| 平田  | 岩雄  | 室蘭市東町日鋼社宅東妻 298号  |
| 力毛  | セッコ | 〃 和利別町 3-103      |
| 佐々木 | 実   | 〃 木輪西町富士鉄社宅 251-1 |
| 鈴木  | 正治  | 〃 幸町 34           |
| 佐野  | 澄子  | 〃 泉町末友            |
| 佐藤  | 真由美 | 幌別町字上郷別 15        |

|    |      |              |
|----|------|--------------|
| 星田 | 湾    | 苫小牧市王子町 北光寮内 |
| 谷川 | 福子   | 〃 〃 〃        |
| 加藤 | リヨウ子 | 〃 〃 〃        |
| 宮岸 | 忠孝   | 〃 緑町 道立深義町   |
| 岡  | 向祐   | 〃 山手1区 16号   |

|     |     |           |
|-----|-----|-----------|
| ナガタ | アキコ | 沙流郡平取町字平取 |
| トダ  | ユキコ | 〃 〃 〃     |

|    |    |                  |
|----|----|------------------|
| 山賀 | 秀  | 小樽市花園町東 3-11     |
| 高橋 | 達治 | 〃 桜町 307         |
| 江口 | 晋吉 | 〃 真沢町 9-22       |
| 早川 | 昇一 | 〃 緑町 2-2         |
| 前田 | 幸一 | 〃 花園町西 2-17      |
| 平坂 | 基  | 〃 真栄町 近藤富子方      |
| 竹内 | 五男 | 〃 汐見台町福 13 高橋善次方 |

山 木 昭 二 郎  
大 川 健 治  
浜 山 紀 紀  
上 郷 登 茂  
中 沢 天 茂  
坂 谷 眼 卓

小樽市清水町34  
 \* 最上町16 十和田方  
 \* 花園町東1-23  
 \* 線町1の1  
 \* 花園町東4の22  
 \* 花園町東4 池田製菓内

坂 下 清 一  
ア リ マ ヨシハル  
相 沢 治 雄  
高 橋 愛 一  
面 里 静 彦  
山 崎 久 蔵  
河 野 友 道  
崎 近 庄 次 郎  
桐 生 育 保 岩  
彼 藤 喜 伍 岩  
木 村 和 隆  
坂 宅 公 子  
東 三 田 泰 子  
三 野 惠 子  
階 田 勇 三  
松 内 海 和 彦  
吉 原 昭 八 郎  
和 田 燈 昭 子  
橋 島 昭 子  
佐 藤 本 由 起 子  
山 夕 工 子  
後 仁 町 岩 武 親  
有 藤 龜 代 三

札幌市北1 東9  
 \* 北24 西9  
 \* 南水東町7  
 \* 豊平5条9丁目 道管住宅 933  
 \* 南16 西5  
 \* 南23 西13 公宅  
 \* 北18 西6  
 \* 北16 東1の9  
 \* 北12 西14  
 \* 北8 西6 道管北8系  
 \* 大通り東8  
 \* 北13 西3  
 \* 北2 西26  
 \* 北17 東8  
 \* 琴似町宮ノ森12  
 \* 北7 西18  
 \* 北4 西25 高波方  
 \* 山元町 347  
 \* 南3 西13  
 \* 豊平3条1丁目  
 \* 豊平2条11丁目  
 \* 北22 西9 小野武方  
 \* 北20 西7 イズミソウ内  
 \* 琴似町宮ノ森147  
 \* 南1 西3 HBC内  
 \* 北19 西5の20

浪  
滝  
当  
高  
山  
葛

松  
八  
石

新  
泉  
外

イ

田  
池

青

菅

因

木  
竹

兒  
田



|   |   |   |     |                |
|---|---|---|-----|----------------|
| 浪 | 越 | 春 | 夫   | 札幌市南5 面3       |
| 庵 |   | 和 | 美   | 札幌郡豊平町中ノ島 香木方  |
| 当 | 摩 | 憲 | 三   | ” ” 月差6区       |
| 高 | 木 | 良 | 夫   | 札幌市南13 面13 吉村方 |
| 山 | 路 | 彪 | 峰   | ” 北14 束7       |
| 葛 | 西 | 廉 | 三 郎 | ” 伏見町15/2      |

|   |   |   |   |               |
|---|---|---|---|---------------|
| 弘 | 尾 | 文 | 天 | 江別市糠町東4 江別製粉内 |
| 八 | 木 | 隆 | 二 | ” ”           |
| 石 | 崎 | 幸 | 夫 | ” ”           |

|   |   |   |   |            |
|---|---|---|---|------------|
| 新 | 田 | 為 | 男 | 夕張郡由仁町字三川  |
| 泉 | 谷 | 昭 | 典 | ” 由仁町      |
| 外 | 山 | 雅 | 子 | ” 由仁町市街 60 |

|   |   |   |   |          |
|---|---|---|---|----------|
| イ | ト | セ | イ | 北見市弄町 24 |
|---|---|---|---|----------|

|   |   |   |     |            |
|---|---|---|-----|------------|
| 田 | 辺 |   | 至   | 留萌市千鳥町 留高寮 |
| 池 | 島 | 母 | 三 吉 | ” 弄町1-61   |

|   |   |   |   |            |
|---|---|---|---|------------|
| 齊 | 藤 | 圭 | 司 | 厚田郡厚田村大字別荘 |
|---|---|---|---|------------|

|   |   |   |   |             |
|---|---|---|---|-------------|
| 菅 | 原 | 欽 | 雄 | 勇払郡上厚真局区内鯉沼 |
|---|---|---|---|-------------|

|   |   |   |   |           |
|---|---|---|---|-----------|
| 因 | 藤 | 幸 | 子 | 虻田郡本極村字脇方 |
|---|---|---|---|-----------|

|   |   |   |   |             |
|---|---|---|---|-------------|
| 木 | 津 | 義 | 雄 | 旭川市9条9丁目石1  |
| 竹 | 吉 | 正 | 太 | ” 1条通り7丁目左4 |

|   |   |   |   |                    |
|---|---|---|---|--------------------|
| 兒 | 王 | 太 | 夫 | テイ木町               |
| 田 | 中 | 貞 | 美 | 本島市工八町1282 中電社宅32号 |

# HEL 收支報告

| ( 収 入 )     |       | ( 支 出 )    |       |
|-------------|-------|------------|-------|
| 大会収払戻り      | 5,390 | #20 印刷代    | 3,100 |
| HEL 会費 (下記) | 1,450 | 全送料及通信費    | 1,094 |
| 旧号売却代       | 120   | 振替口座手数料    | 60    |
| 飯塚博覧会券 4枚   | 520   | 日本大会祝電     | 80    |
|             |       | 収払日本大会費 4人 | 600   |
| 収 入 計       |       | 支 出 計      |       |
|             | 5,390 |            | 4,884 |

$$\begin{aligned} \text{繰越残} + \text{収 入} - \text{支 出} &= \text{残 高} \\ 4,348 + 5,390 - 4,884 &= 4,854 \end{aligned}$$

## HEL 会費内訳

| 月 日   | 氏 名     | 金 額   | 年 次 |     |     |
|-------|---------|-------|-----|-----|-----|
|       |         |       | 32  | 33  | 34  |
| 5/26  | 月 毛 セッコ | 100   |     |     | 100 |
| 6/14  | 児 王 広 夫 | 250   | 100 | 150 |     |
| 8/5   | 猪 内 和 男 | 100   | 100 |     |     |
| 8/9   | 早 坂 基   | 300   | 100 | 200 |     |
| "     | 当 摩 憲 三 | 200   |     | 200 |     |
| "     | 滝 和 美   | 400   |     | 200 | 200 |
| 10/10 | 坂 下 清 一 | 100   |     | 100 |     |
|       |         | 1,450 | 300 | 850 | 300 |

振替口座 小樽 5240      残 高 (33-11-30)

$$\begin{aligned} \text{HEL 残} + \text{大会残高} + \text{大会報告書買込私分} &= \text{新} \\ 4,854 + 362 + 2,000 &= 7,216 \end{aligned}$$

# 北海道エスペラント連盟規約

1. この連盟は 北海道エスペラント連盟 (HOKKAIDO ESPERANTO LIGO) とい  
い、事務局を札幌市におく。
2. この連盟は、北海道在住のエスペランチストの中の希望者または地方会名団体を  
組織する。
3. この連盟は 北海道におけるエスペラントの宣伝と実用をはかり、民主的文化的  
向上に専心し、世界的な交流をはかることを目的とする。
4. この連盟は、目的達成のため次の事業をおこなう。
  - a 換肉誌、印刷物の発行
  - b 講習会、収買会等の開催
  - c 日本エスペラント学会、その他のエスペラント団体との協働
  - d 内外語文化団体との提携
  - e その他
5. この連盟は年1回、北海道エスペラント大会を開催する。
6. この連盟に 次の役員をおく。

委員長 1名 事務局長 1名 常任委員および委員 若干名
7. 委員長は この連盟を代表する。
8. 各委員の任期は、定期大会から次の定期大会までとする。
9. この連盟の会費は 1名につき年費 200円とする。
10. この規約は、大会の決議がなければ変更することができない。

|             |       |
|-------------|-------|
| 1946年 9月22日 | 決 定   |
| 1948年 11月3日 | 才1回改正 |
| 1954年 9月23日 | 才2回改正 |
| 1956年 9月23日 | 才3回改正 |

# 北海道エスぺラント連盟役員一覧

(1954 9 23 改選決定)

|      |         |                            |
|------|---------|----------------------------|
| 委員長  | 坂下 清一   | 札幌市北1東9 (北工電気株式会社社長)       |
| 事務局長 | 相沢 治雄   | 札幌市南水東町7丁目 (定山溪鉄道電車4車庫功役)  |
| 事務委員 | アリマヨシハル | 札幌市北24西9 (北海道庁発着管轄設計課課長補佐) |
|      | 高橋 要一   | 札幌市大通東8 (北海道ヒラノ商社社長)       |
|      | 西里 静彦   | 札幌市南16西5 (北大学生)            |
| 委員   | 山 貴 勇   | 小樽市花園町東3-11 (山貴眼科医院社長)     |
|      | 高橋 達治   | 小樽市桜町307 (小樽海産学校教員)        |
|      | 平田 岩雄   | 室蘭市東町日鋼社東298 (日鋼社員)        |
|      | 新田 歳男   | 夕張郡由仁町宇三川 (由仁町収入役)         |
|      | 藤井 沢司   | 岩見沢市4条西15丁目 (岩見沢保健所取員)     |
|      | 竹 吉 正玄  | 旭川市9条9丁目石ノ号 (旭川郵便局)        |
|      | 菅原 欽雄   | 勇払郡厚真町上厚真 (中学校教員)          |
|      | 吉 田 栄   | 函館市船見町43 (旅行員)             |

## LEONTODO

N-ro 21 22

編集発行人 北海道エスぺラント連盟  
 札幌市北1条東9丁目 坂下清一方  
 発行日 1958. 12. 20  
 会費 年額 200円 (HEL会費) 年4回発行

# Enketo pri Esperantistoj en Hokkaido

札幌市北ノ原ヲ

北海道エスペラント連盟

下記各項にそれぞれ質問答の上御返送下さいませようお願い致します。尚余白のない場合は別紙に答番号を附して書いて下さい。尚違した事項で面白いことがありましたら検閲紙の兼務として御返送下さい。

氏名 \_\_\_\_\_ 年令(或は支年) \_\_\_\_\_ 職業 \_\_\_\_\_  
住 所 \_\_\_\_\_ 所属会 \_\_\_\_\_

## Esperanto 学習について

① いつごろ、どこでお始めですか？ 講習会の場合講師は？ 独習なら用書は？ どんな動機でしたか？ どんな方が一筋でしたか？ 今までにどここの会に所属しましたか？

② 講習会を聞かれたことがありますか？ 何時頃、何人位教え子が活躍しておりますか？

③ *Esperanto* 以外の外国語で何かおやりになりましたか？ *Esp.* はそれと比較してどう思っていますか？

- ④ *Esperanto* に関して感銘をうけたこと、忘れられないこと、想い出の人、行幸或は大会、振をしたこと、振をしたこと、よかったこと、わるかったこと。

- ⑤ 過去及び現在の *Koresponde* に関して、どこ、どんな *temo* で。

#### 運動についての希望

- ⑥ 新しく学習する人に、所属地分会に、HELに、日本のエス界に、全世界のエス界に望みたいこと。

#### 抱負

- ⑦ 私はこういうことをしている、或はしたい。

## あ と が き

大会にあんなに沢山お集り願って報告も写真もお送りしないで誠に申しわけありません。あされたことでしょうか。実は *Leontodo* の原稿をあちらこちらにお願いしたのですが皆さんお忙しくて送つてくれませんでしたのでおそくなりました。誰です？ 私なら面白い記事でもエッセイでも書いてやると言う人は？ 何卒御意なく沢山送つて下さい。皆さんの *Leontodo* ですから。本当に早く出したかったのです。永くなつている内に学力検定普通試験の発表もありました。畑山、鈴木、カモ、高橋、ナカタ、西里、アリマ、イトウの8名氏諸君が合格いたしました。おめでとうございます。来年の大会にも又施行する予定ですから。まだ受験していない方は何卒自分の自信をつけるためにも頑張るの上受験して合格のよろこびを味わって下さい。オタク5回日本エスペラント大会も11月の12、13日の3日間福岡市で盛大に開催されました。HELからも祝電を呈しておきました。北海道からは不発参加ですか。小樺の江口君、札幌の坂下、アリマ、吉原、稲野、猪俣、後藤、滝、西里、相沢、二宅、木村、小沢、高橋の諸氏諸君、14名が参加しました。

巻頭語委員の栗原氏は30年程以前北大エス会に現在学九の河野弘道博士等と活躍されていたのです。最近又エス界に力をそそがれ、先日の小友先生の古稀記念出版祝賀会に出席されたり、学会の集会などに顔を出されていきます。何卒北海道のエス界のためにも大きな力になつて下さい。

昨年交通事故の足の骨折をしたり、奥さんの御不幸にお逢いになつたり最悪の年であつたアリマヨシハル氏は御子息等のためもあり信仰の同志林富江さんと9月23日結婚されました。御多幸を祈ります。

*Leontodo* 主編の祝、山本昭二郎君にはいつもこの表紙やプリントでお話をなつておりますが、このたびは表紙から編集まで一切お世話になりました。お礼を申し上げます。

夏太子殿下御帰朝の御発表おめでとうございます。御寄附者の正田真智子さんは語学の天才。但し語学は英語の由、しかしエスペラントの達人と言つてもピンと来なくて英仏語に御たんのうと言つた方がおだやかで通りがよいことでしょうか。何しろ英語で生計をたてる英語教師が何千人もいる日本の国のことですから。どなたかエスペラントでお祝いを述べては如何ですか？ 折込のエンゲート是非御返送下さい。*Leontodo* の原稿も同封願入れは幸いです。

*Do mi deziras al vi Felician Novjaron!*

坂下記